

第3章

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

(一般高齡者調査結果)

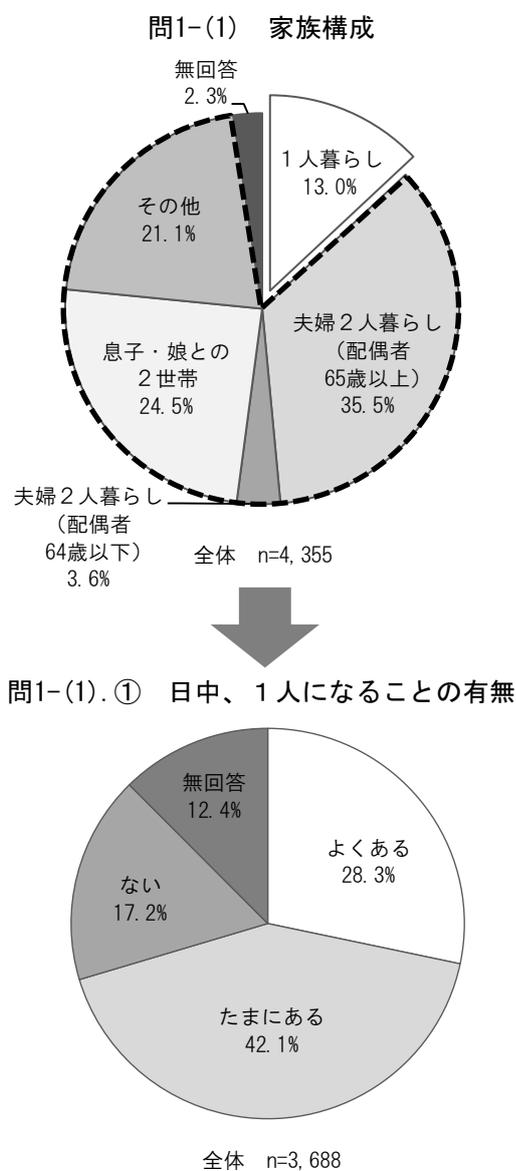
第3章 一般高齢者※調査結果

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成及び日中独居者の状況

○一般高齢者※の家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（35.5%）が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（24.5%）、「1人暮らし」（13.0%）となっています。

○日中に1人になることの有無は、「たまにある」（42.1%）が最も高く、「よくある」（28.3%）を合わせた7割以上が、日中に1人になることがあると回答しています。

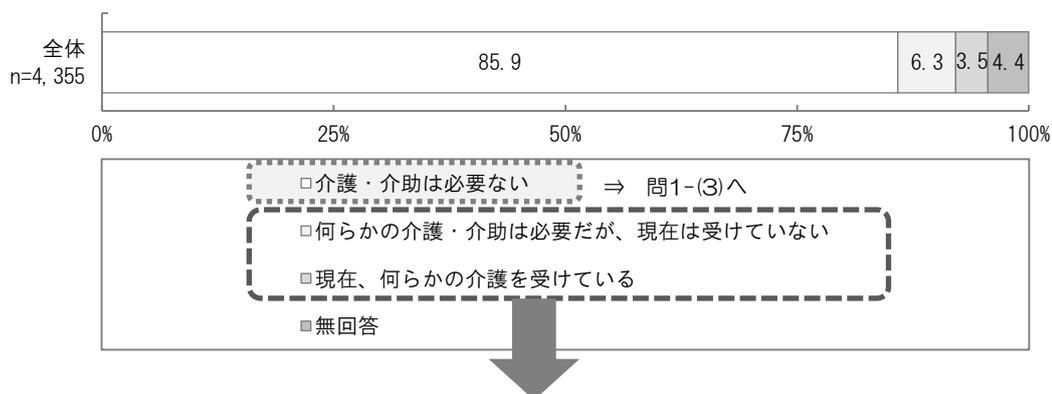


※ここでいう「一般高齢者」は「チェックリスト該当者」を除いた65歳以上の回答者を指します。

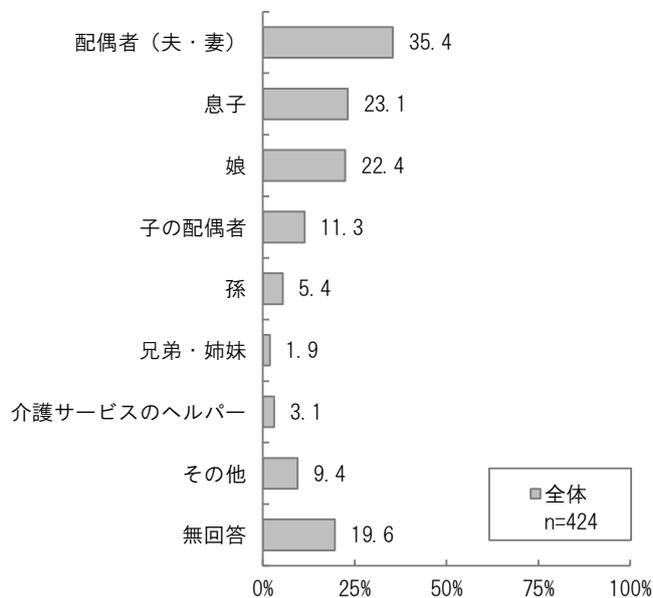
(2) 日常生活における介護（介助）の状況

- 一般高齢者の普段の生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（85.9%）が最も高くなっています。
- 介護、介助をしてくれる人は、「配偶者（夫・妻）」（35.4%）が最も高く、次いで「息子」（23.1%）、「娘」（22.4%）の順となっています。
- 介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（22.4%）が最も高く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」（13.0%）、「心臓病」（12.7%）、「骨折・転倒」（12.3%）の順となっています。

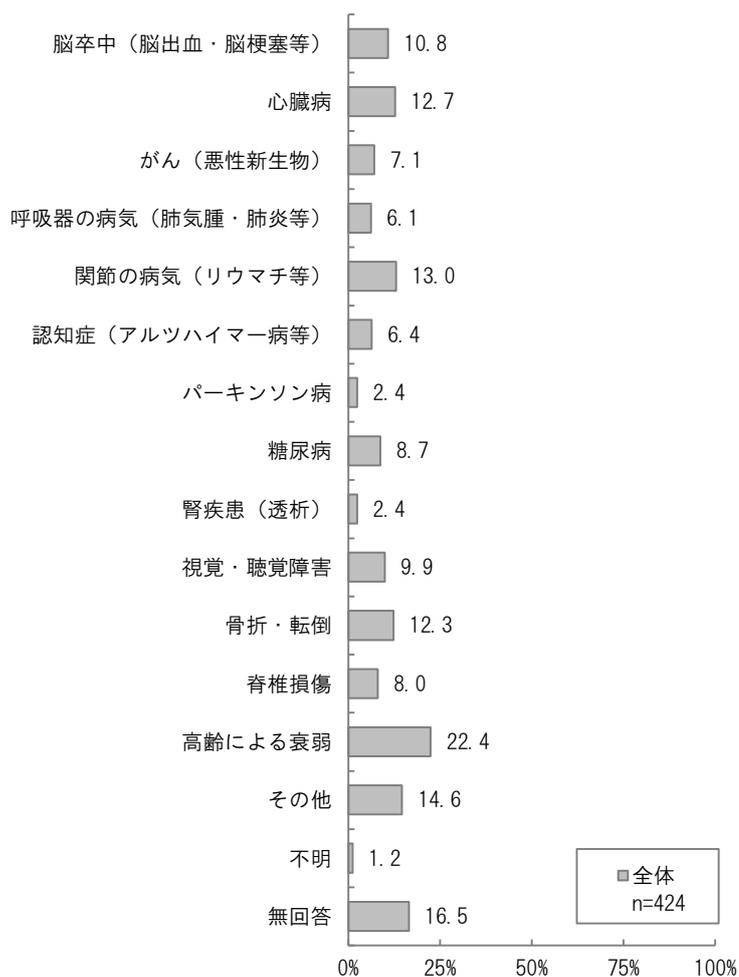
問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



問1-(2).② 介護、介助をしてくれる人



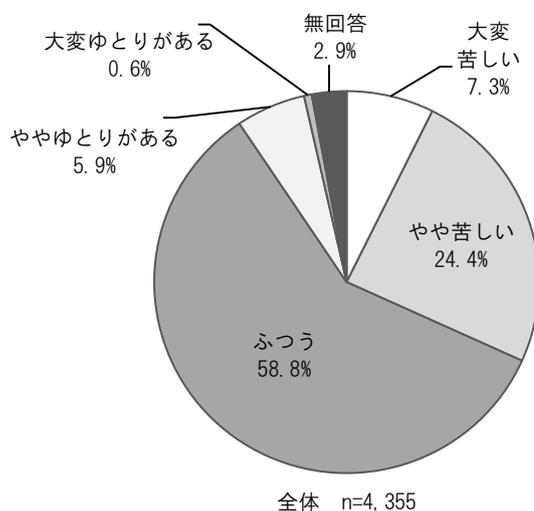
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○一般高齢者の現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」（58.8%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（24.4%）、「大変苦しい」（7.3%）の順となっています。

問1-(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて

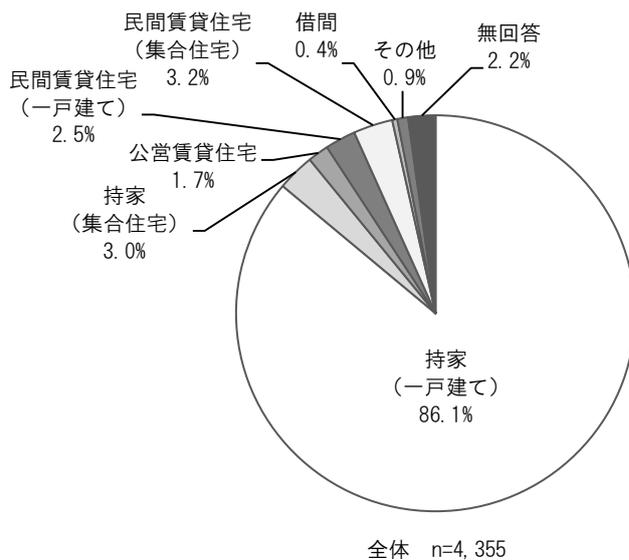


(4) 現在の居住環境

○一般高齢者の現在の暮らしている家の状況をみると、「持家（一戸建て）」（86.1%）が最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」（3.2%）、「持家（集合住宅）」（3.0%）、「民間賃貸住宅（一戸建て）」（2.5%）の順となっています。

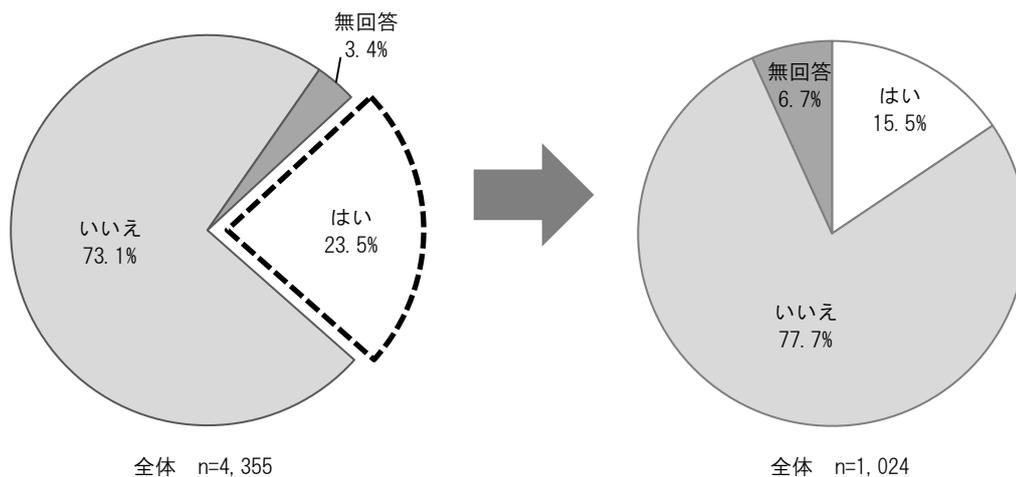
○居住環境（部屋）が2階以上であると回答した方は23.5%となっており、そのうちの77.7%はエレベーターが未設置であると回答しています。

問1-(4) 現在の暮らしている家の状況



問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか

図1-(5).① エレベーター設置の有無



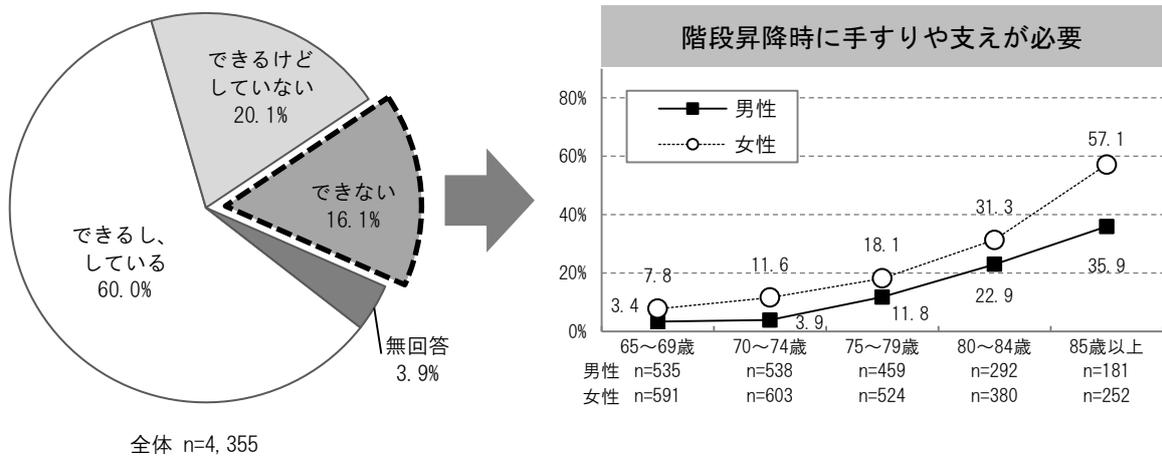
2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

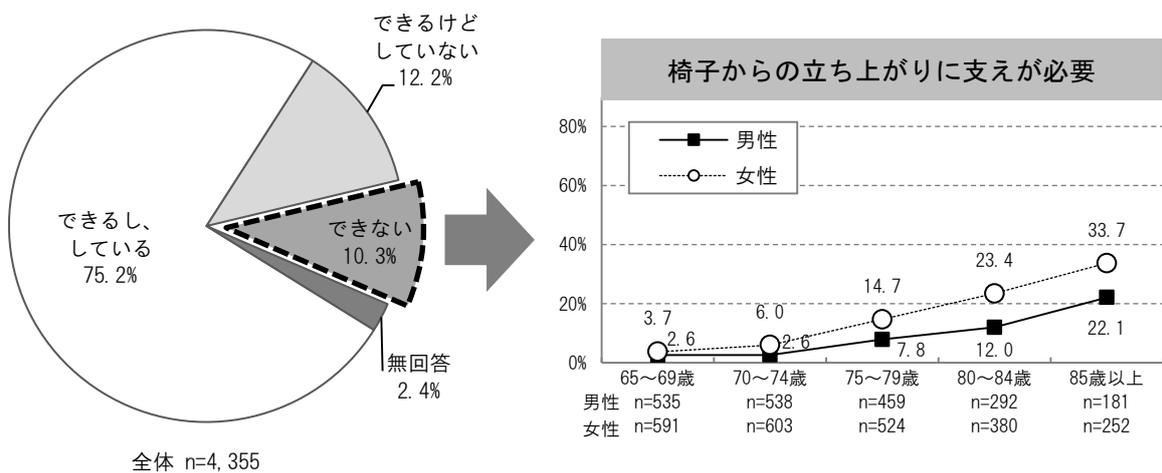
○一般高齢者の階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、「できない」方は16.1%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、「できない」方は10.3%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



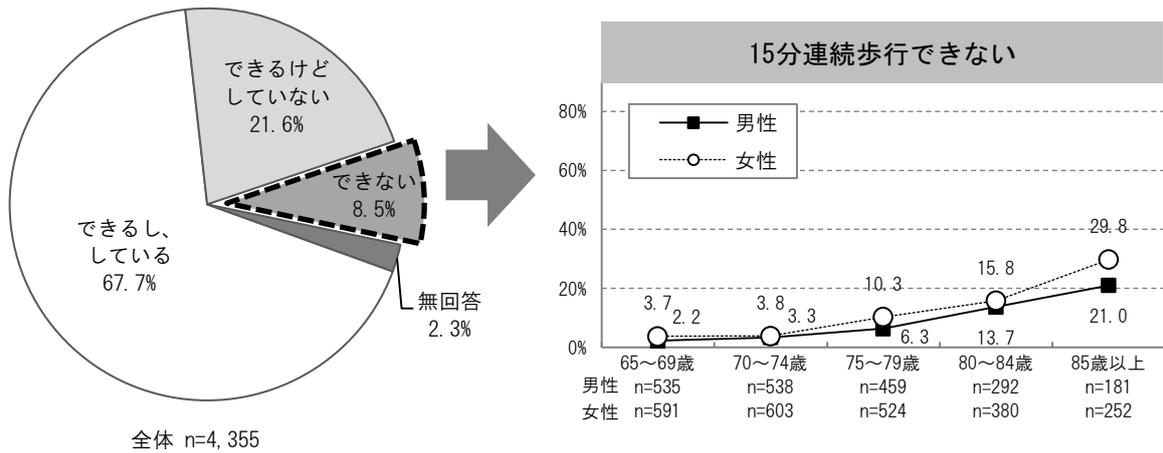
問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか



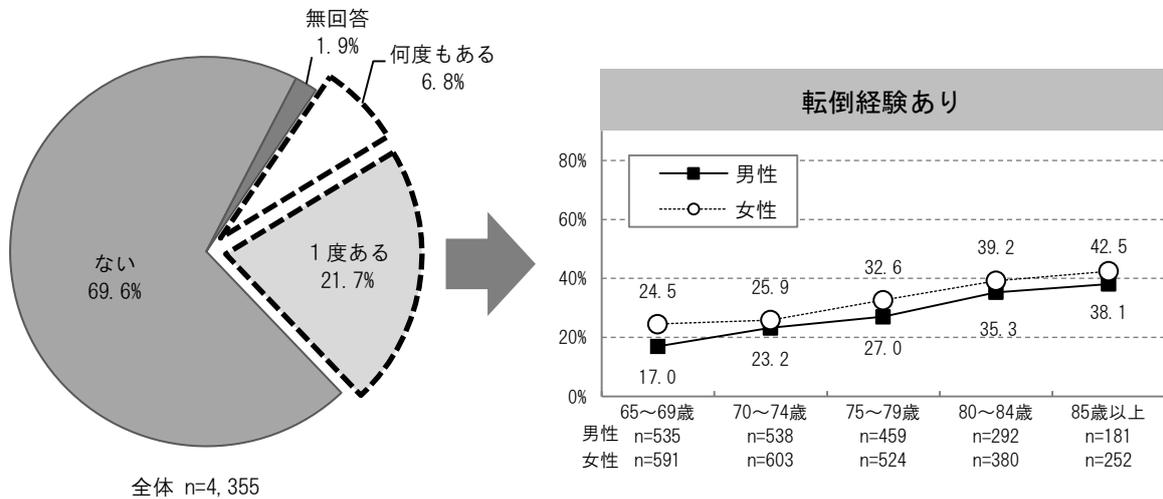
○一般高齢者の15分位続けて歩くことができるかでは、「できない」方は8.5%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

○一般高齢者の過去1年間に転んだ経験の有無では、「何度もある」(6.8%)と「1度ある」(21.7%)を合わせた28.5%の方が転んだ経験があると回答しており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



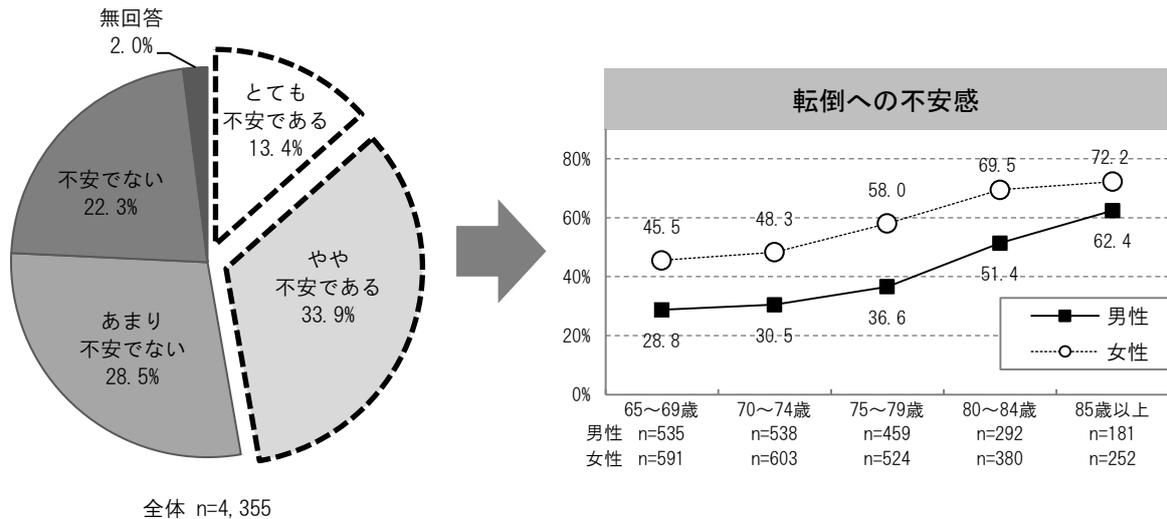
問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



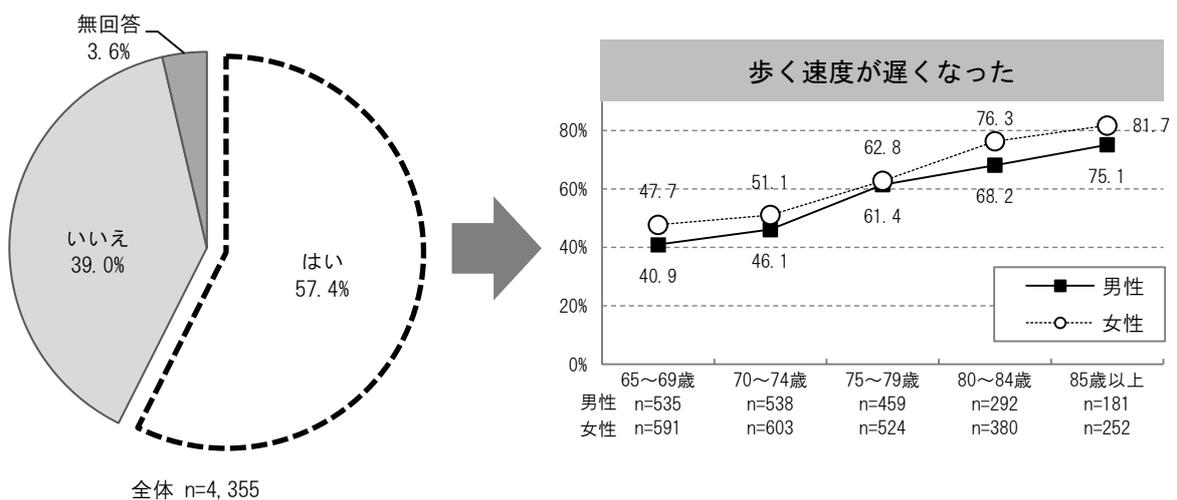
○一般高齢者の転倒に対する不安の有無では、「とても不安である」(13.4%)と「やや不安である」(33.9%)を合わせた47.3%の方が不安を感じており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。また、女性の割合が10~20%前後、男性より高くなっています。

○以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかでは、「はい」の方が57.4%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(5) 転倒に対する不安の有無

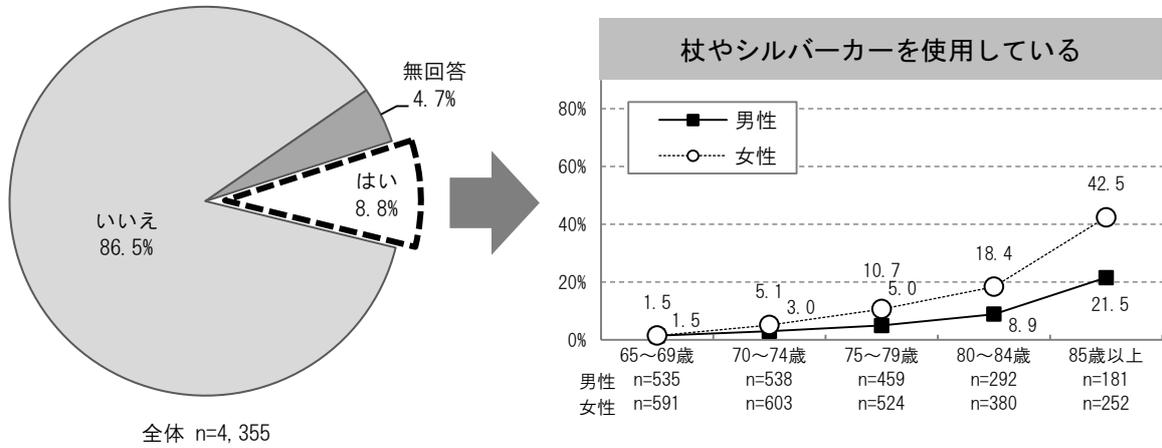


問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか



○一般高齢者の杖やシルバーカーの使用の有無では、「はい」の方が8.8%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

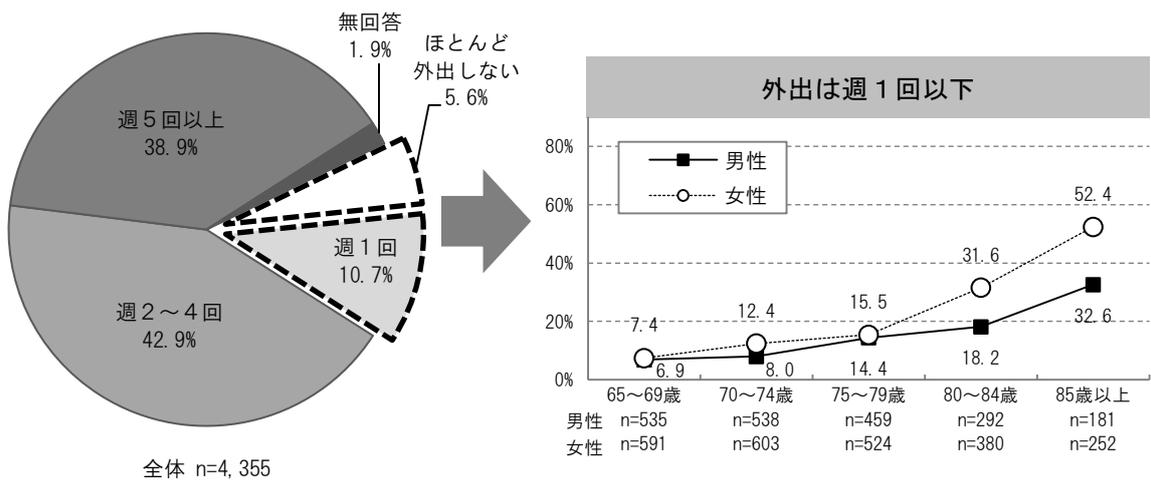
問2-(12) 杖やシルバーカーの使用の有無



(2) 外出の状況

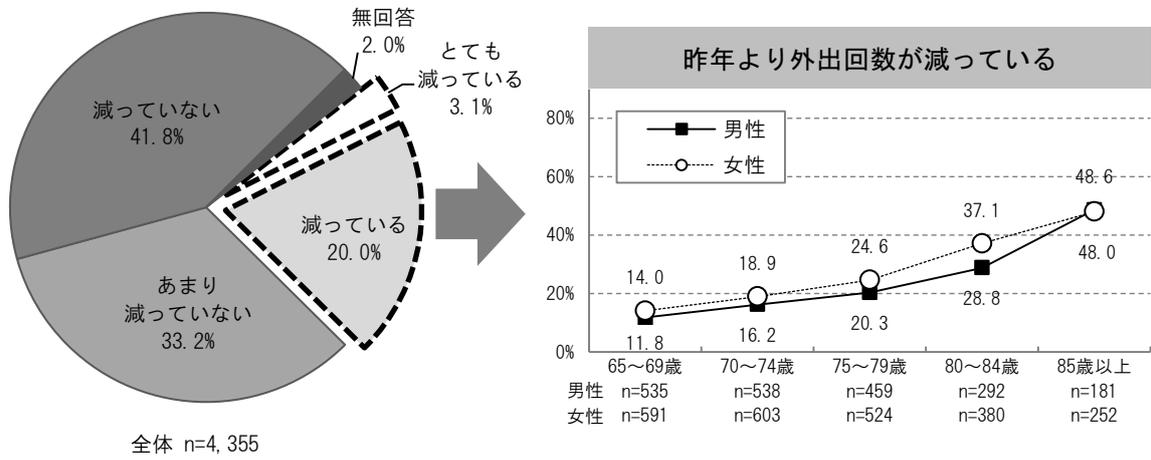
○一般高齢者の週に1回以上の外出の有無では、「週1回」(10.7%)と「ほとんど外出しない」(5.6%)を合わせた16.3%の方が週1回以下と回答しており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(6) 週に1回以上の外出の有無



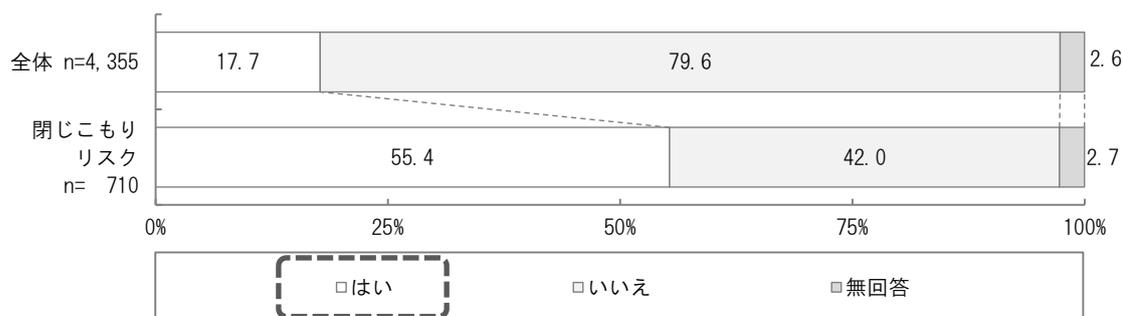
○一般高齢者の昨年と比べた外出の頻度をみると、「減っている」(20.0%)と「とても減っている」(3.1%)を合わせた23.1%の方が減っていると回答し、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(7) 昨年と比べた外出の頻度

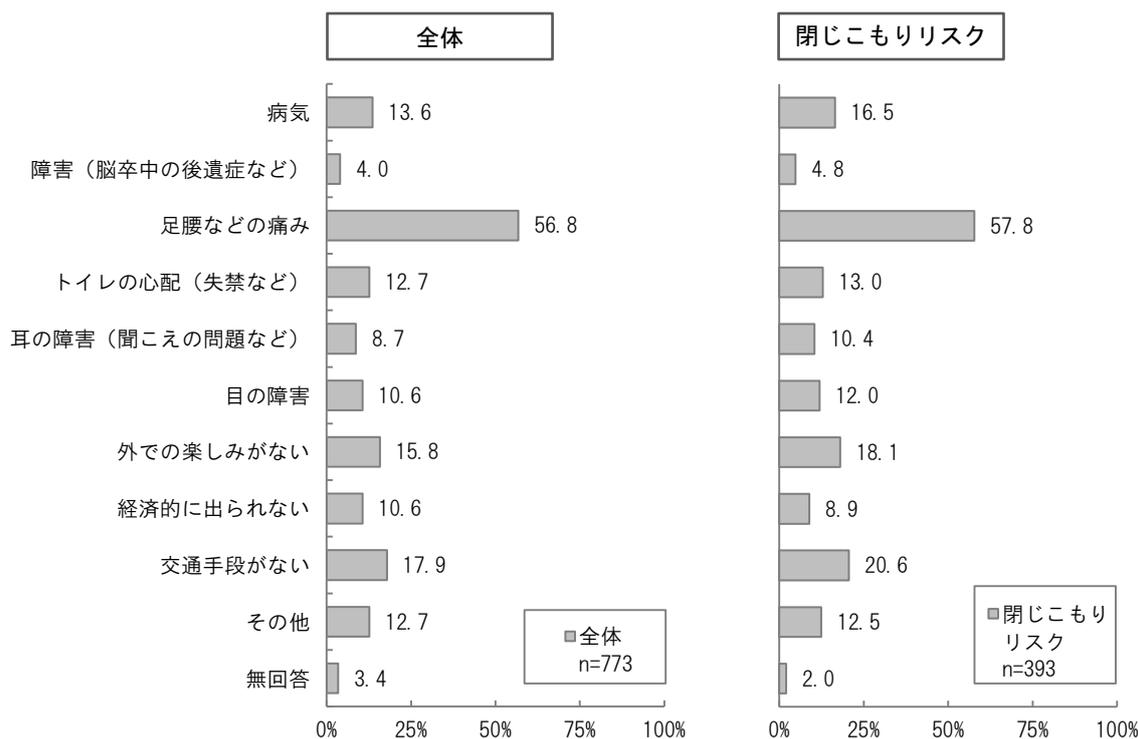


○一般高齢者が外出を控えているかをみると、全体では 17.7%の方が外出を控えていると回答しています。○一般高齢者の外出を控えている理由は、両者ともに「足腰などの痛み」(56.8%・57.8%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(17.9%・20.6%)、「外での楽しみがない」(15.8%・18.1%)、「病気」(13.6%・16.5%)、「トイレの心配(失禁など)」(12.7%・13.0%)の順となっています。

問2-(8) 外出を控えているか (×「閉じこもりリスク者」)

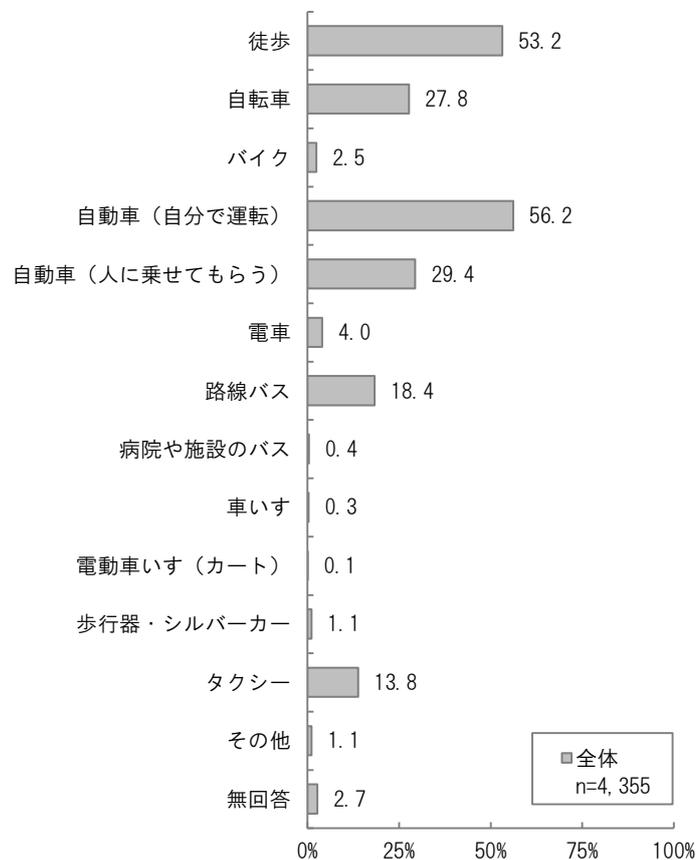


問2-(8).① 外出を控えている理由 (×「閉じこもりリスク者」)



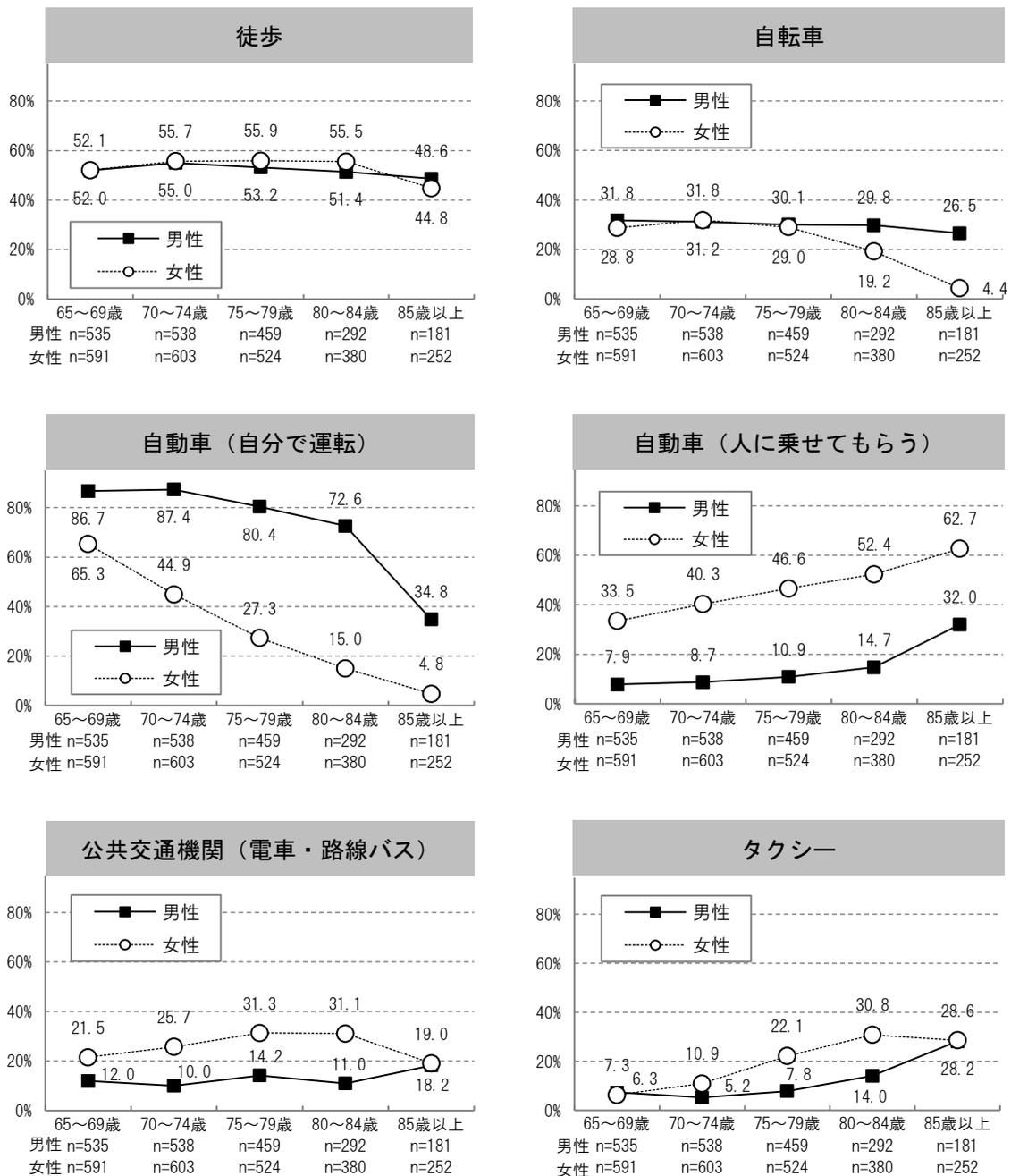
○一般高齢者の外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（56.2%）が最も高く、次いで「徒歩」（53.2%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（29.4%）、「自転車」（27.8%）、「路線バス」（18.4%）、「タクシー」（13.8%）の順となっています。

問2-(9) 外出する際の移動手段



- 一般高齢者の外出する際の移動手段をそれぞれ年齢階級別にみると、「自転車」では男女ともに75歳以上で利用割合が低下しています。
- 「自動車（自分で運転）」では、男性は75歳以上、女性は加齢とともに利用割合が低くなっています。
- 一方、「自動車（人に乗せてもらう）」では、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。
- 「タクシー」では、男性は75歳以上で加齢とともに割合が高くなり、女性は80～84歳まで加齢とともに割合が高くなっています。

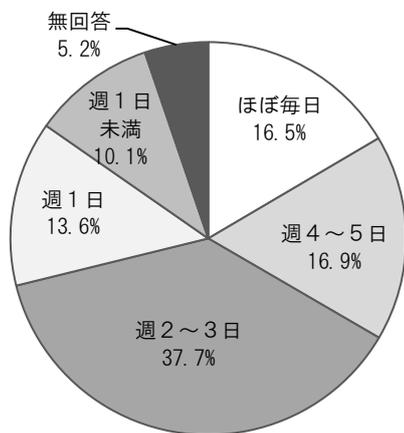
問2-(9) 外出する際の移動手段×年齢階級別



○一般高齢者の買物で外出する頻度は、「週2～3日」(37.7%)が最も高く、次いで「週4～5日」(16.9%)、「ほぼ毎日」(16.5%)、「週1日」(13.6%)の順となっています。

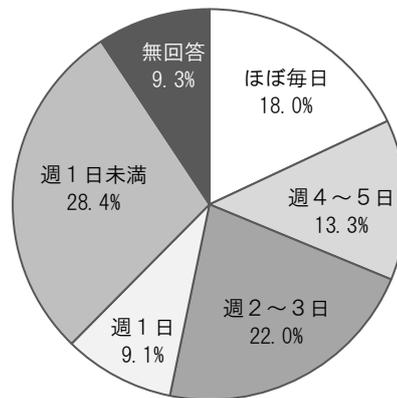
○また、散歩で外出する頻度は、「週1日未満」(28.4%)が最も高く、次いで「週2～3日」(22.0%)、「ほぼ毎日」(18.0%)、「週4～5日」(13.3%)の順となっています。

問2-(10).① 買物で外出する頻度



全体 n=4,355

問2-(10).② 散歩で外出する頻度



全体 n=4,355

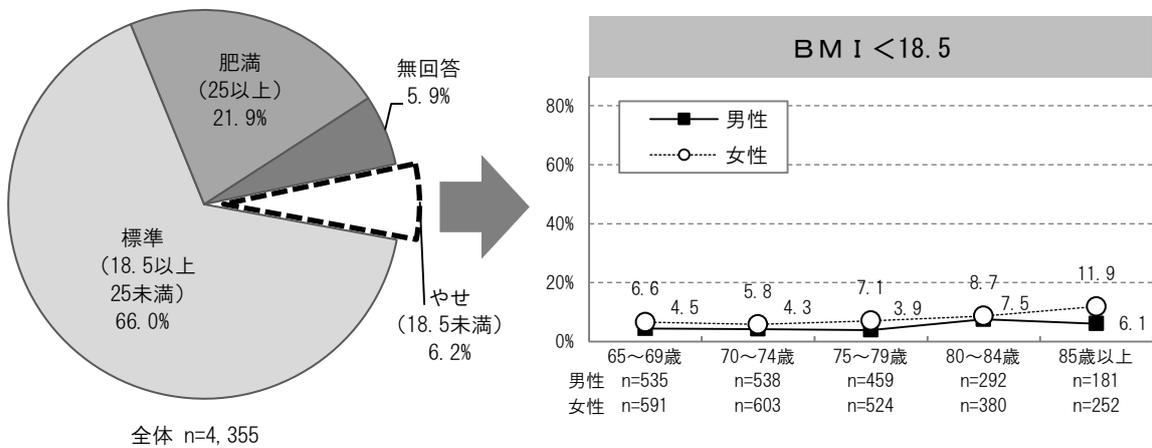
3 食べることについて

(1) 現在の肥満状況

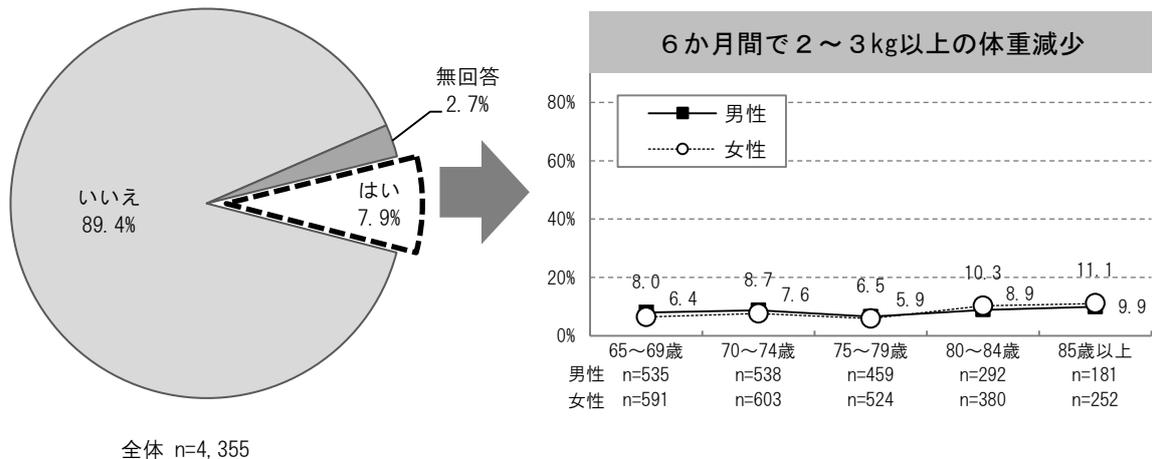
○一般高齢者の肥満状況をBMI指数でみると、「やせ(18.5未満)」の方は6.2%となり、男性は全年齢階級ともに1割未満、女性は85歳以上で1割を超えています、年齢による差は少ない状況です。

○6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無では、7.9%の方が減少したと回答しており、男性は全年齢階級ともに1割未満、女性は80歳以上で1割を超えており、年齢による差は少ない状況です。

問3-(1) BMI指数



問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無



(2) 歯・口腔の状況

○一般高齢者の歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(36.1%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.8%)を合わせた49.9%の方が入れ歯を利用しています。

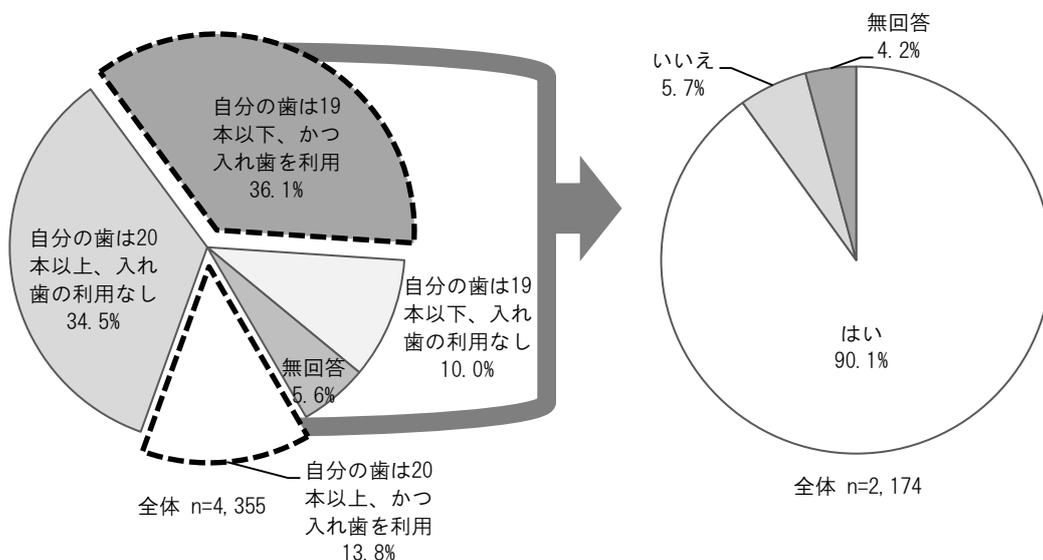
○また、入れ歯利用者のうち90.1%の方が、毎日入れ歯の手入れをしていると回答しています。

○噛み合わせについてみると、79.4%の方が良いと回答しています。

○歯磨きを毎日しているかでは、91.2%の方が「はい」と回答しています。

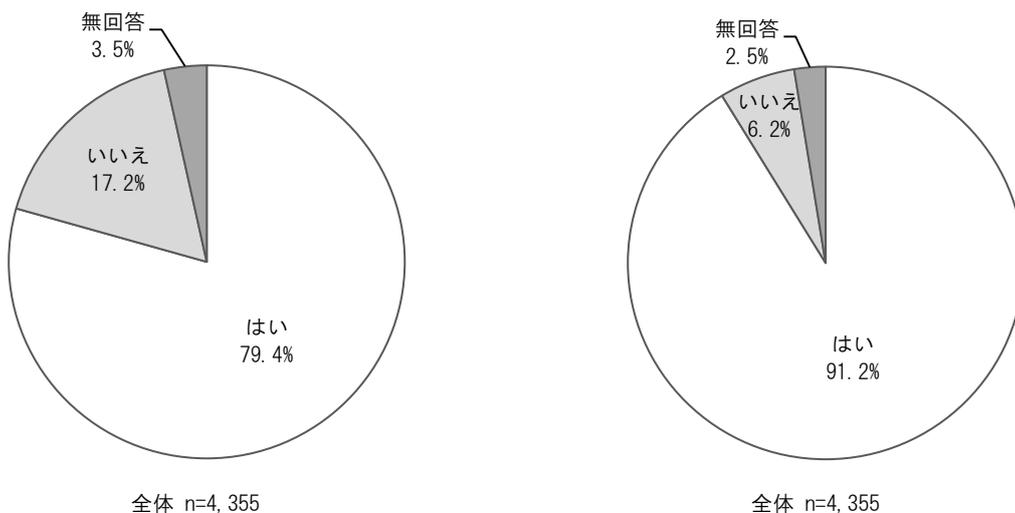
問 3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問 3-(3).② 噛み合わせは良いか

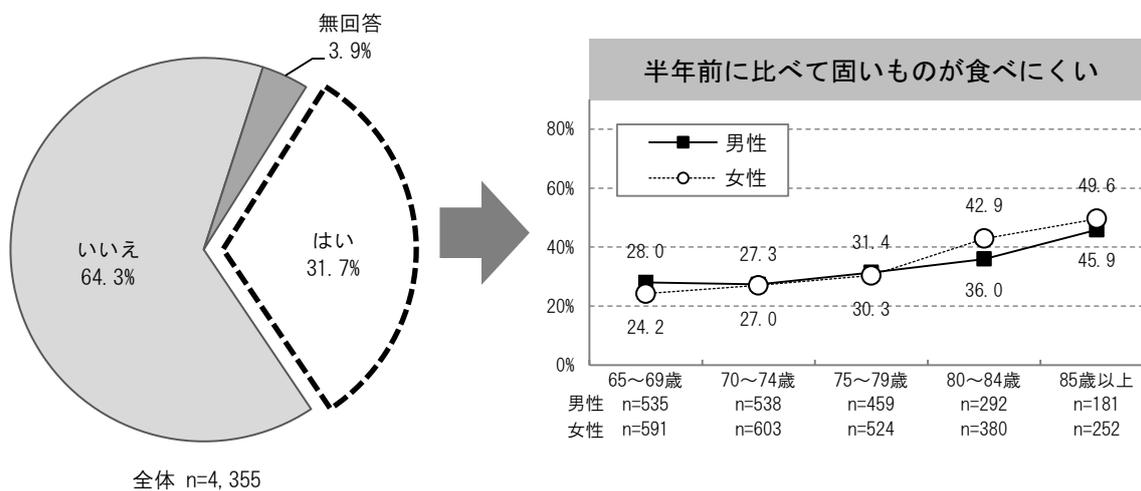
問 3-(7) 歯磨きを毎日しているか



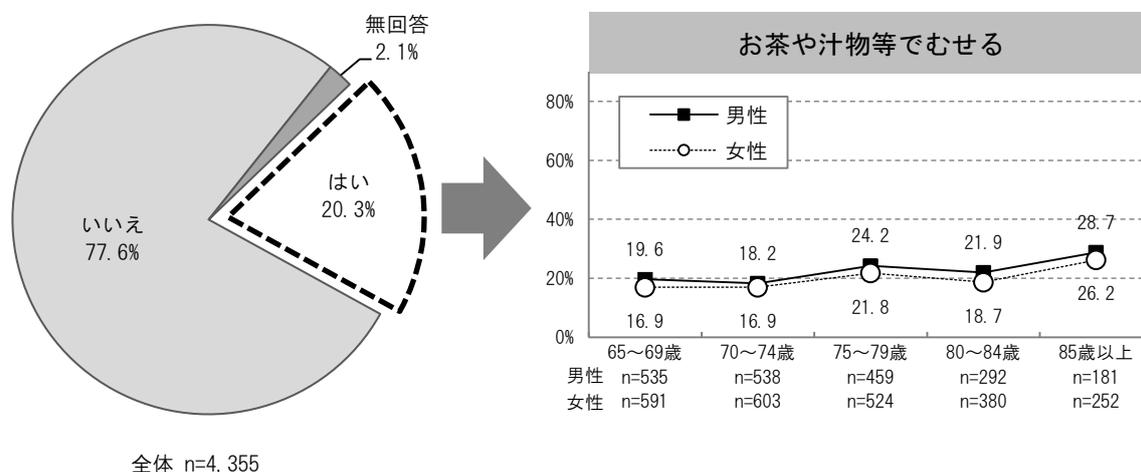
○一般高齢者の半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは、「はい」の方が31.7%となり、男女ともに年齢による差は少ない状況です。

○お茶や汁物等でむせることの有無では、20.3%の方があると回答しており、男女ともに75歳以上では2割前後となっているものの年齢による差は少ない状況です。

問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった

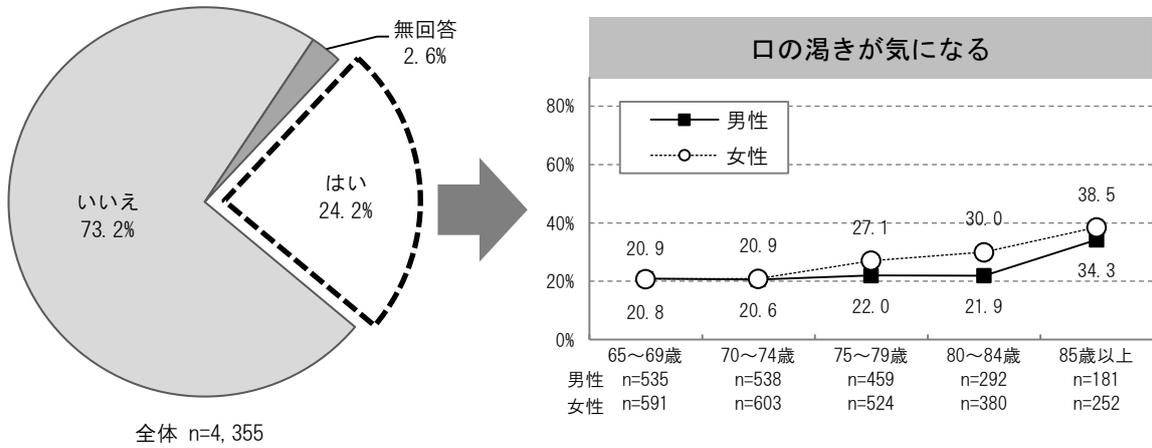


問3-(5) お茶や汁物等でむせることの有無



○一般高齢者の口の渇きが気になるかでは、24.2%の方が「はい」と回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

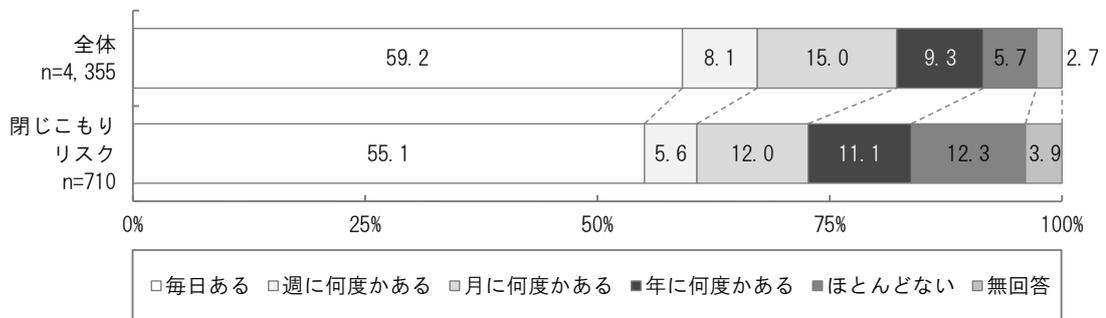
問3-(6) 口の渇きが気になるか



(3) 食事の状況

○一般高齢者のどなたかと食事をともしる機会の有無をみると、全体・閉じこもりリスク者ともに「毎日ある」(59.2%・55.1%)が最も高くなっています。

問3-(4) どなたかと食事をともしる機会の有無 (×「閉じこもりリスク者」)

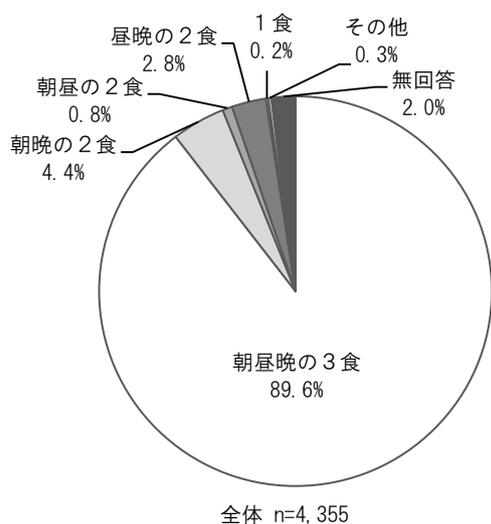


○一般高齢者の1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(89.6%)が最も高くなっています。

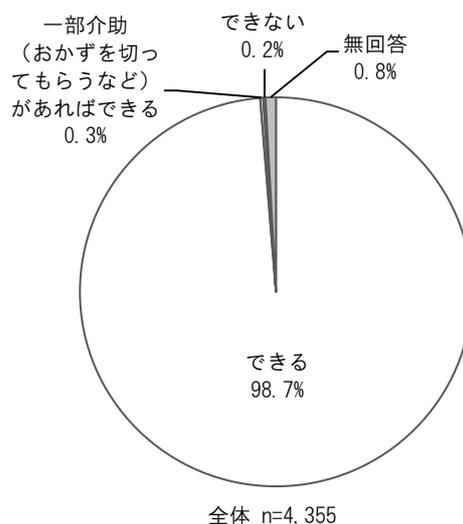
○食事は自分で食べられるかでは、「できる」(98.7%)が最も高くなっています。

○家事全般ができていないかでは、16.4%の方ができないと回答しており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。なお、男性の割合が10~20%前後、女性より高くなっています。

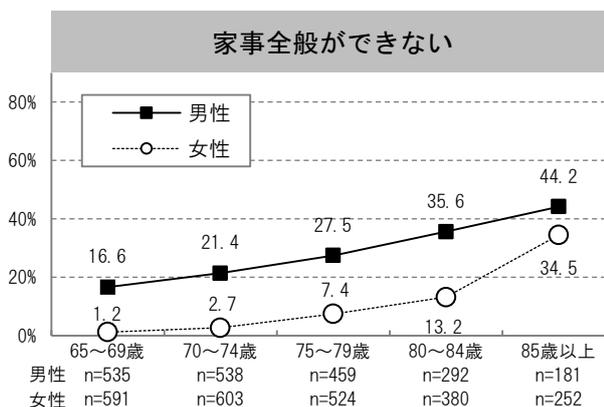
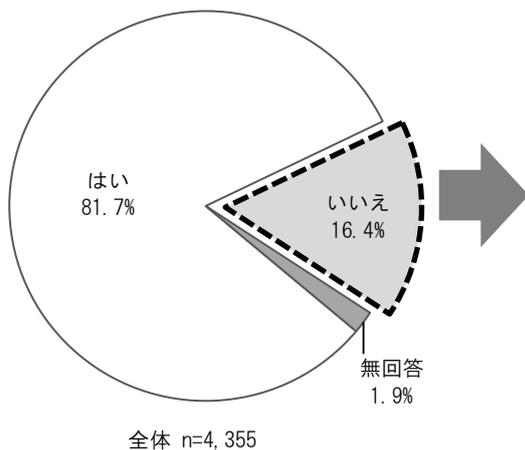
問3-(9) 1日の食事の回数



問4-(22) 食事は自分で食べられるか



問4-(23) 家事全般ができていないか



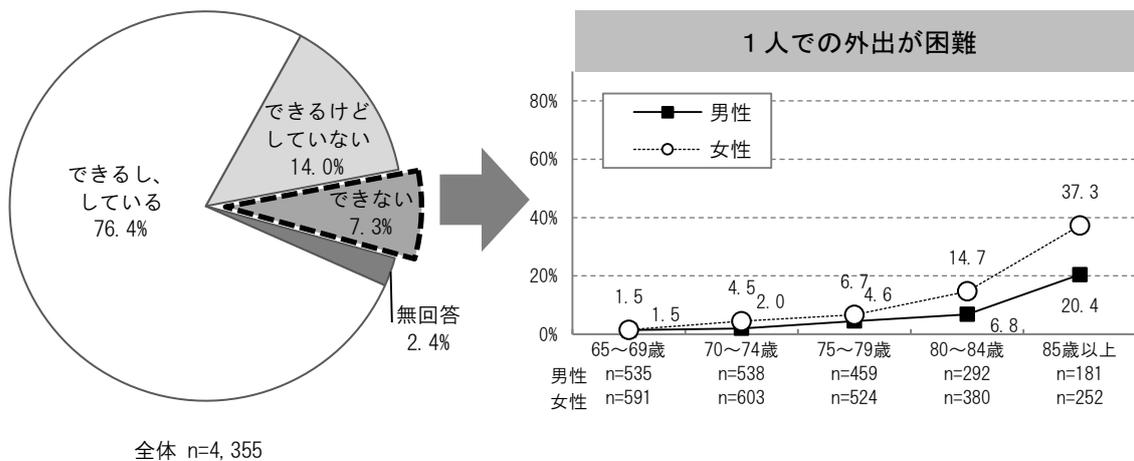
4 毎日の生活について

(1) IADL（手段的自立度）の状況

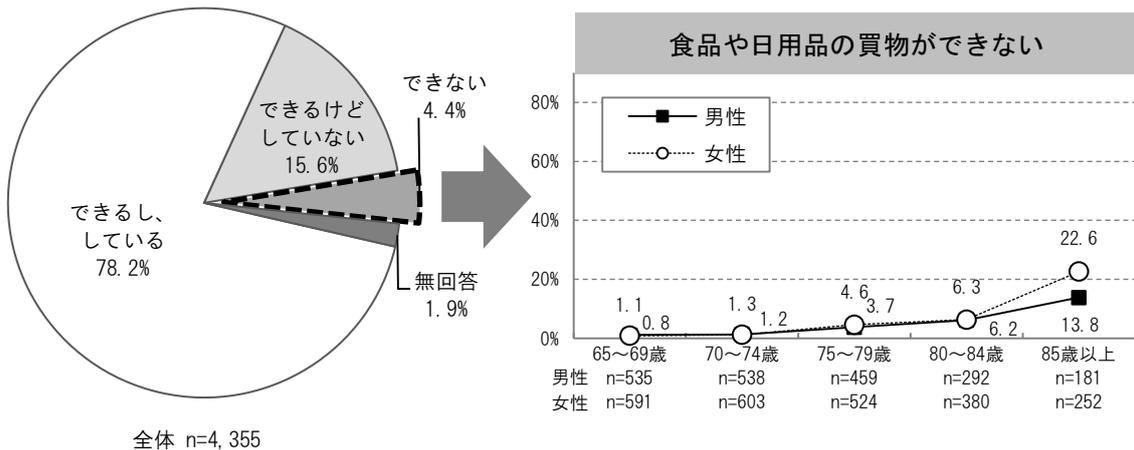
○一般高齢者のバスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できない」方が7.3%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなり、85歳以上で割合が大きく上昇します。

○自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できない」方が4.4%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなり、85歳以上で割合が大きく上昇します。

問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか



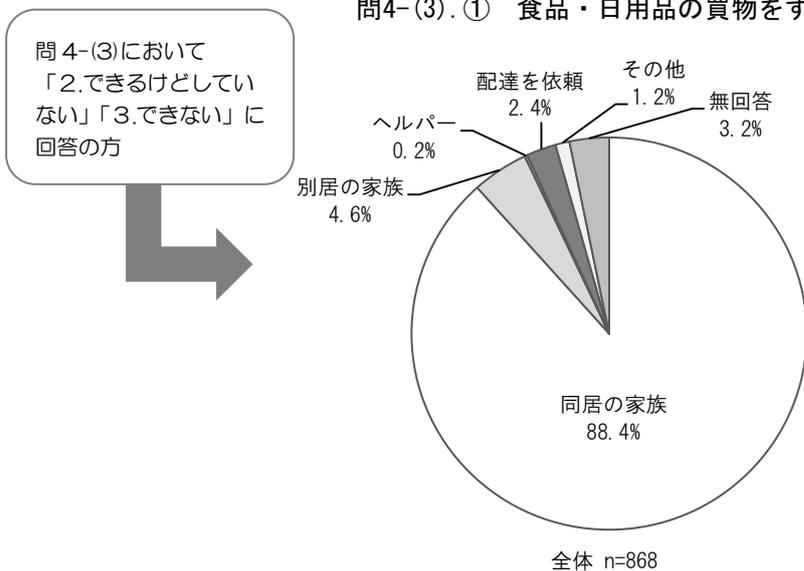
問4-(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか



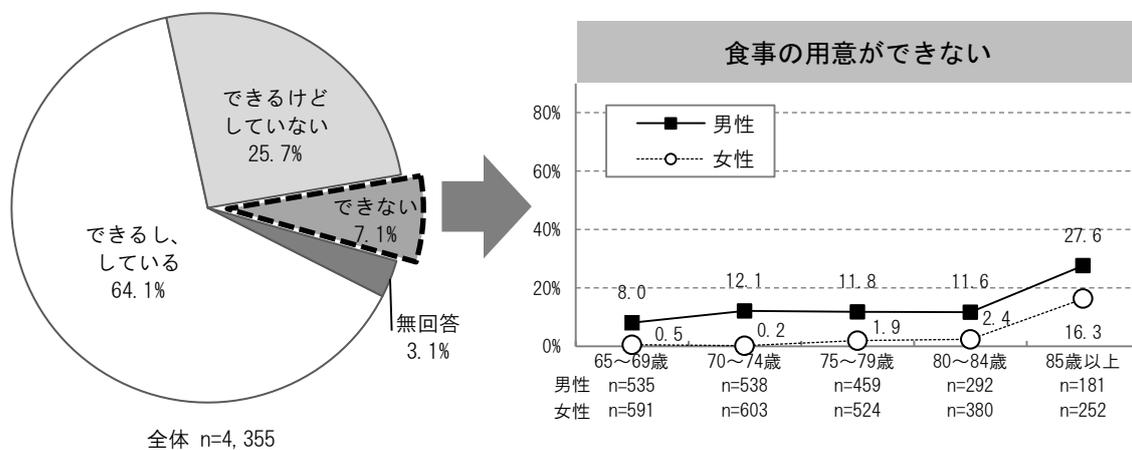
○一般高齢者の食品・日用品の買物をする人をみると、「同居の家族」(88.4%)が最も高くなっています。

○自分で食事の用意をしているかでは、「できない」方が7.1%となり、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(3). ① 食品・日用品の買物をする人

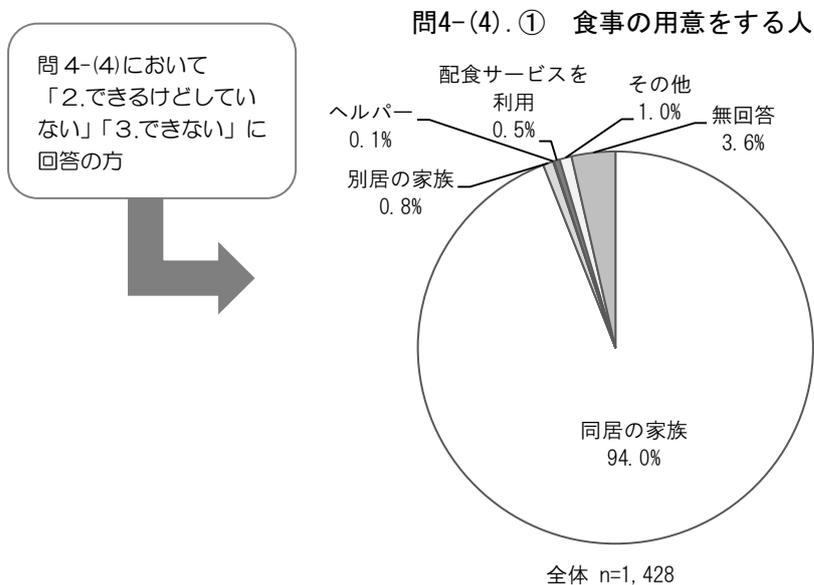


問4-(4) 自分で食事の用意をしているか

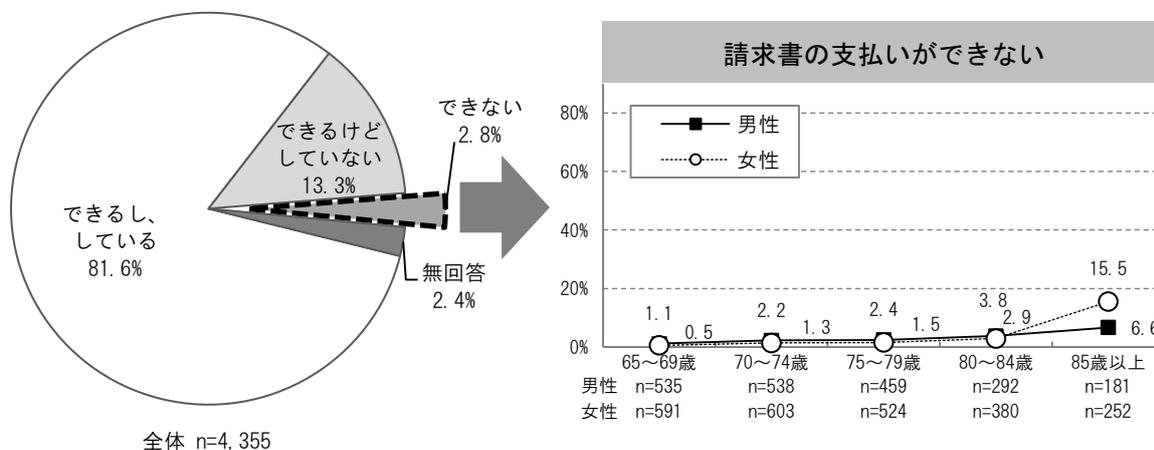


○一般高齢者の食事の用意をする人をみると、「同居の家族」(94.0%)が最も高くなっています。また、「配食サービスを利用」の方は0.5%とわずかな状況です。

○自分で請求書の支払いをしているかでは、「できない」方が2.8%となり、男性は全年齢階級で1割未満、女性は85歳以上で割合が高くなっています。

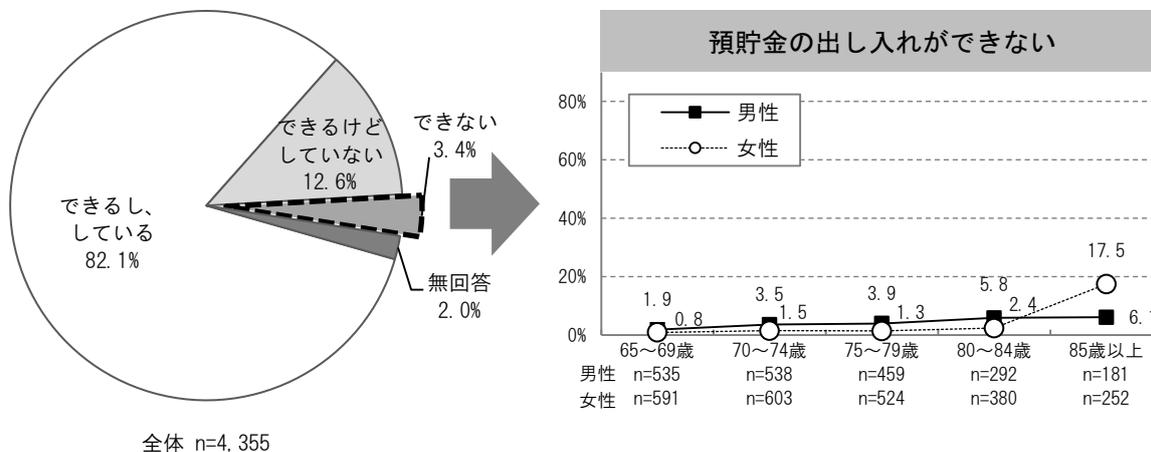


問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか



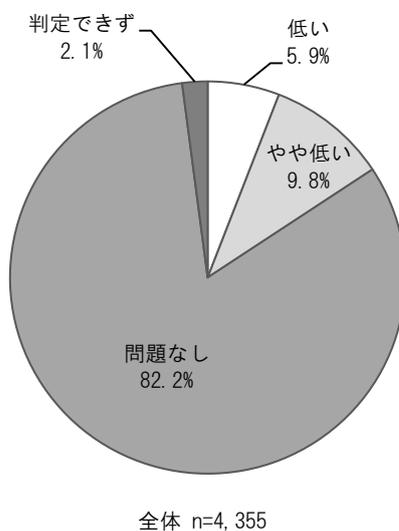
○一般高齢者の自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できない」方が3.4%となり、男性は全年齢階級で1割未満、女性は85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



○IADL（手段的自立度）の低下該当状況をみると、「問題なし」（82.2%）が最も高く、次いで「やや低い」（9.8%）、「低い」（5.9%）となっています。

IADL（手段的自立度）の低下該当状況

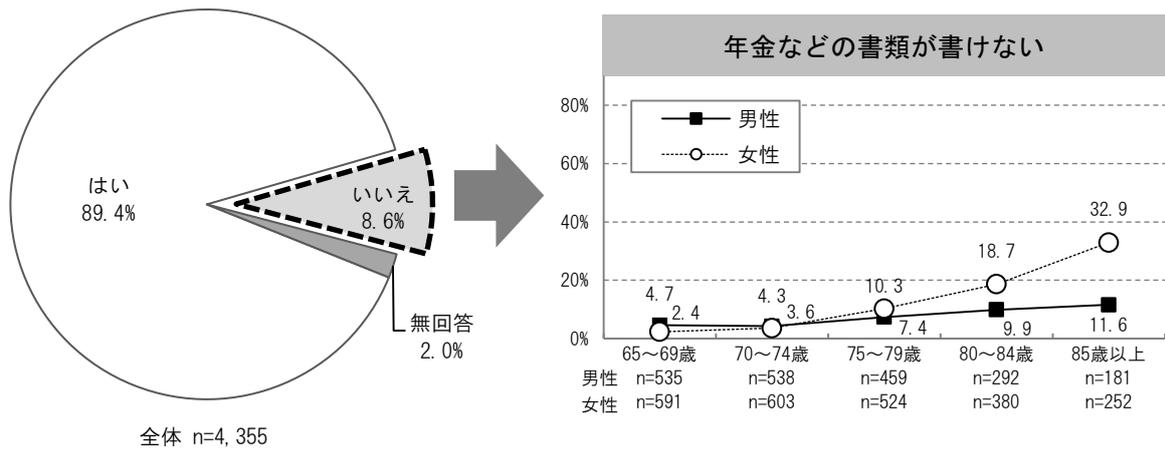


(2) 社会参加（知的能動性）の状況

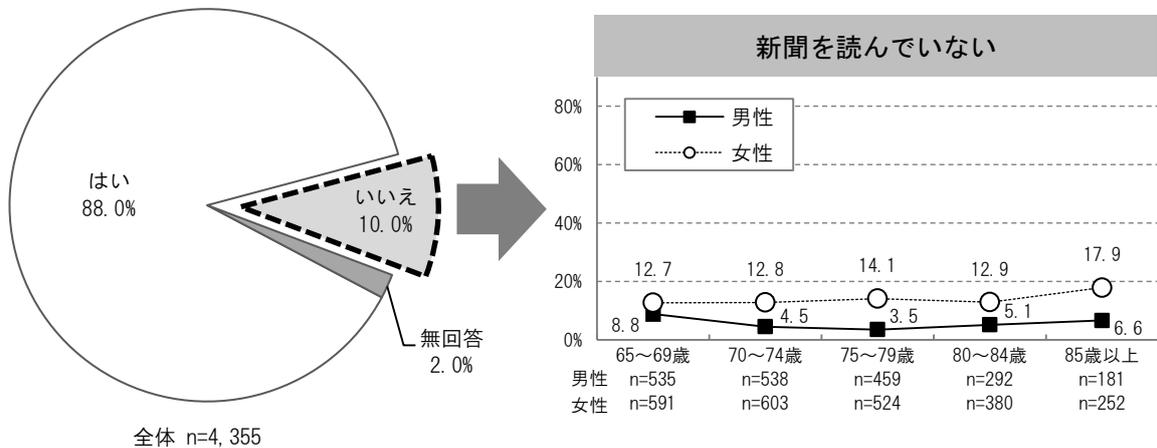
○一般高齢者の年金などの書類が書けるかでは、8.6%の方が書けないと回答しており、特に女性の75歳以上で割合が大きくなり上昇しています。

○一般高齢者の新聞を読んでいるかでは、10.0%の方が読んでいないと回答しており、男性は全年齢階級で1割未満、女性は1割台と性別による差は少ない状況です。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか



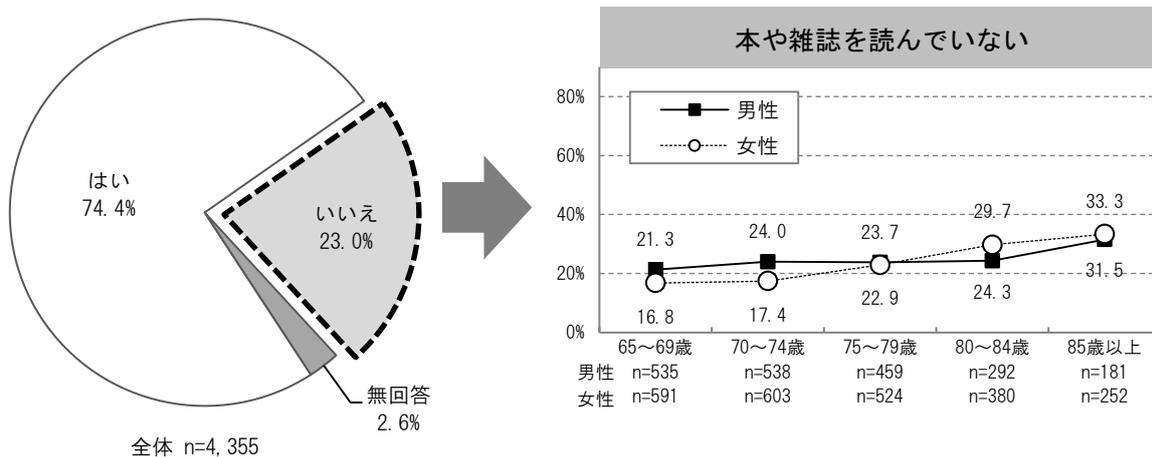
問4-(10) 新聞を読んでいるか



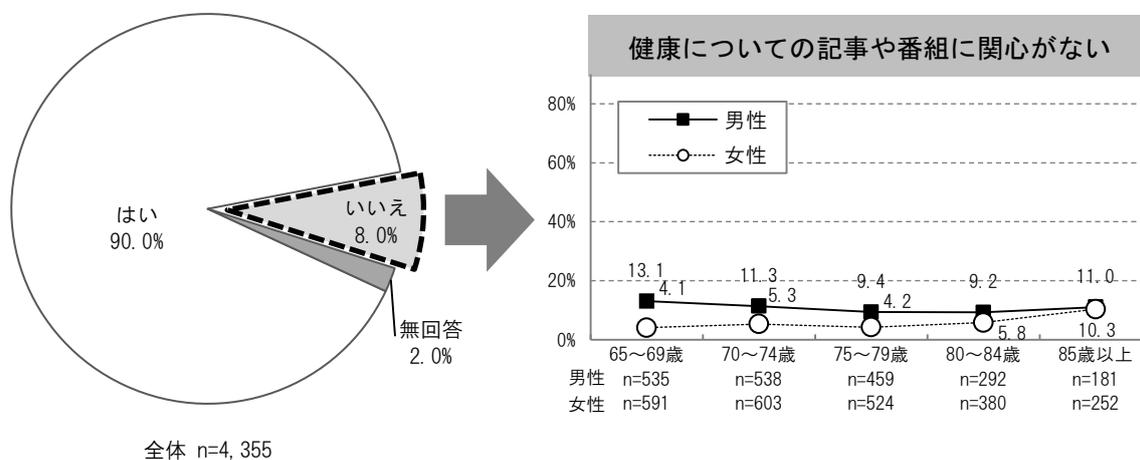
○本や雑誌を読んでいるかでは、23.0%の方が読んでいないと回答しており、男性は 85 歳以上、女性は 80 歳以上で割合が高くなっています。

○一般高齢者の健康についての記事や番組に関心があるかでは、8.0%の方が関心がないと回答しており、男女ともに全年齢階級で 1 割前後となっています。

問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか

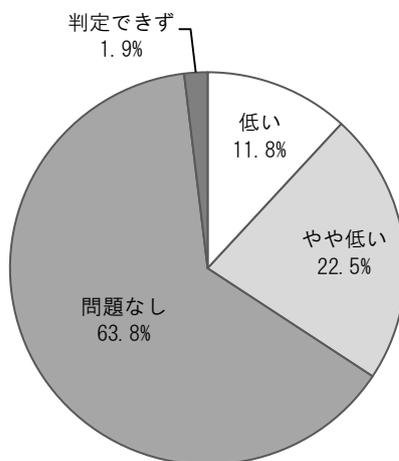


問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか



○知的能動性の低下該当状況をみると、「問題なし」(63.8%)が最も高く、次いで「やや低い」(22.5%)、「低い」(11.8%)となっています。

知的能動性の低下該当状況

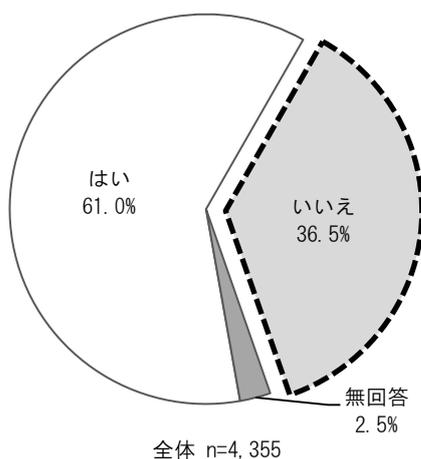


全体 n=4,355

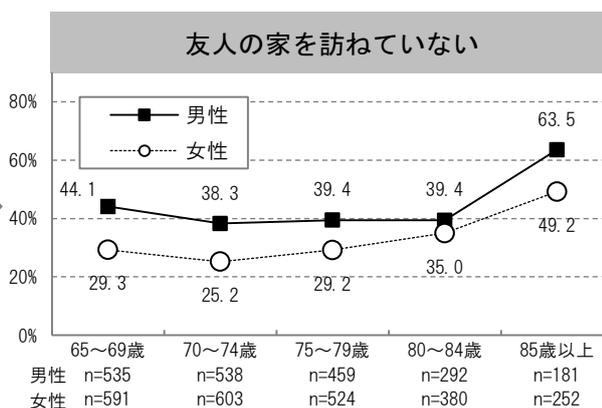
(3) 社会参加(社会的役割)の状況

○一般高齢者の友人の家を訪ねているかでは、36.5%の方が訪ねていないと回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(13) 友人の家を訪ねているか



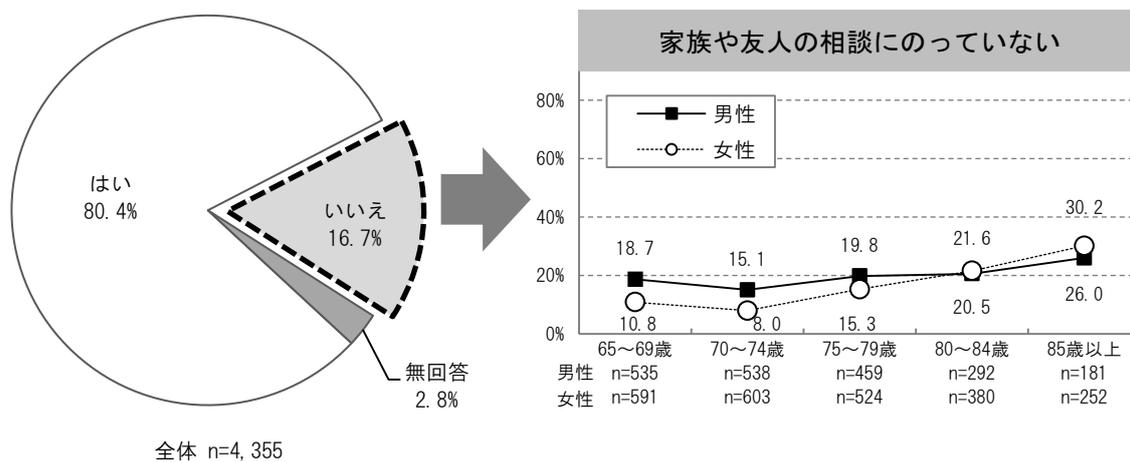
全体 n=4,355



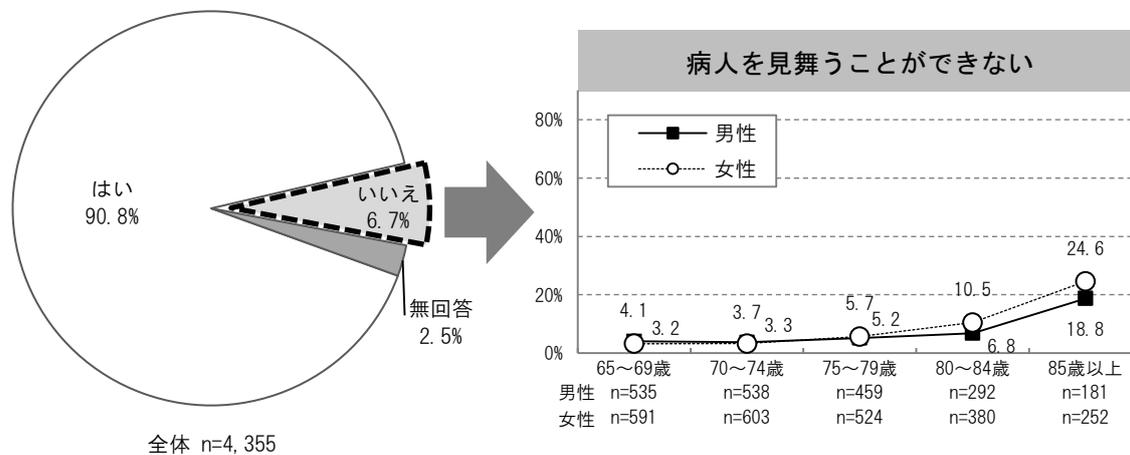
○一般高齢者の家族や友人の相談にのっているかでは、16.7%の方が相談にのっていないと回答しており、男女ともに75歳以上で高くなっています。

○病人を見舞うことができるかでは、6.7%の方が見舞うことができないと回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか

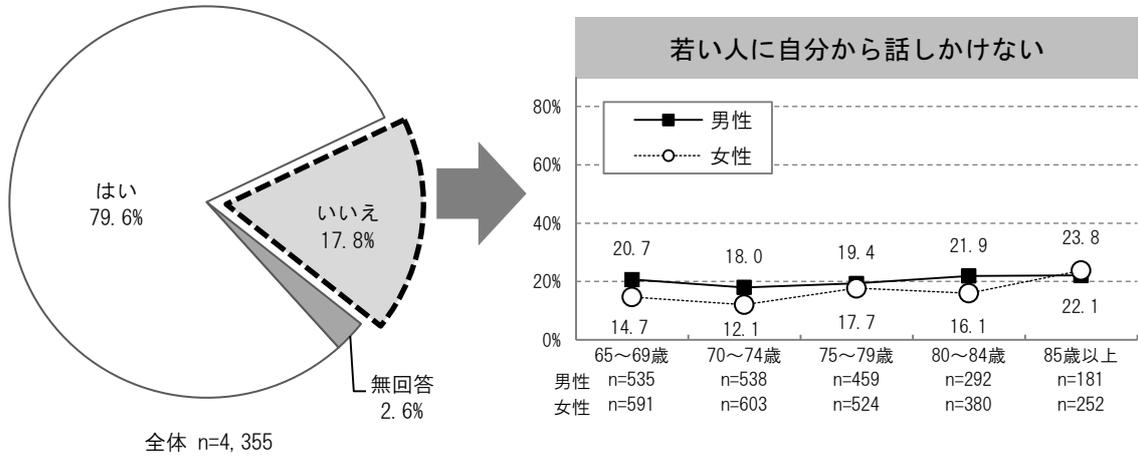


問4-(15) 病人を見舞うことができるか



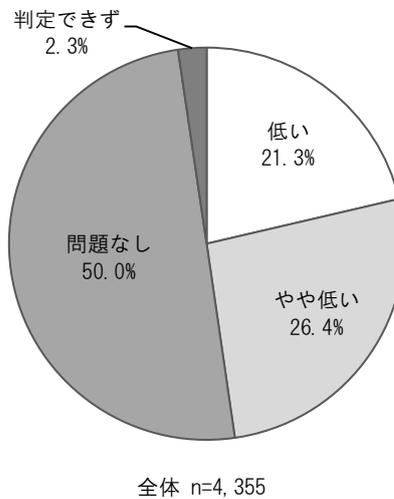
○一般高齢者の若い人に自分から話しかけることはあるかでは、17.8%の方が話しかけないと回答しており、男女ともに全年齢階級で2割前後となっています。

問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか



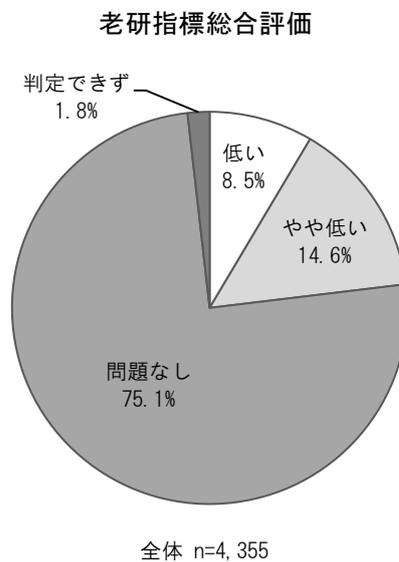
○社会的役割の低下該当状況をみると、「問題なし」(50.0%)が最も高く、次いで「やや低い」(26.4%)、「低い」(21.3%)となっています。

社会的役割の低下該当状況



(4) 老研指標総合評価

○ IADL（手段的自立度）、知的能動性、社会的役割の低下状況を老研指標総合評価で見ると、「問題なし」の方が75.1%を占めるものの、「低い」(8.5%)と「やや低い」(14.6%)を合わせた2割以上の方は低下状況にあります。

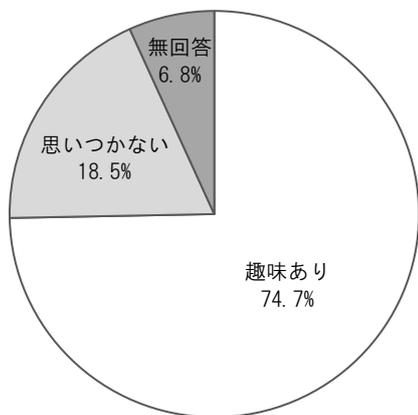


(5) こころの健康状態

○一般高齢者の趣味の有無では、74.7%の方が有ると回答しています。

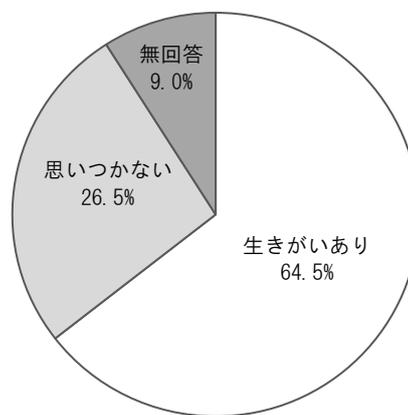
○生きがいの有無では、64.5%の方が有ると回答しています。

問 4-(17) 趣味はあるか



全体 n=4,355

問 4-(18) 生きがいはあるか



全体 n=4,355

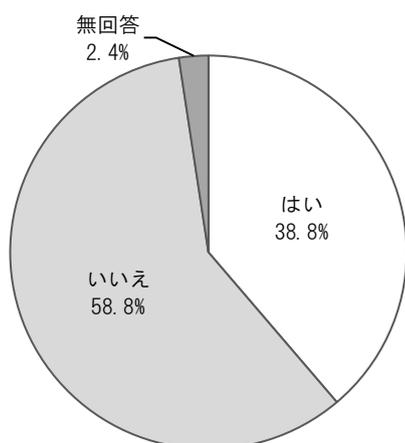
○一般高齢者のこの1か月間、気分が沈んだりすることの有無では、38.8%の方があると回答しています。

○この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じの有無では、23.7%の方があると回答しています。

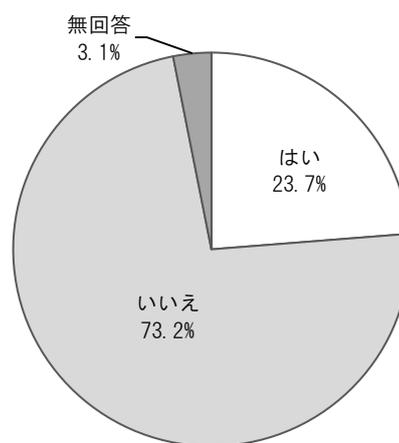
○現在の主観的幸福感では、「8点」(22.2%)が最も高く、次いで「5点」(17.9%)、「(とても幸せ) 10点」(16.3%)、「7点」(15.4%)の順となっています。また、平均点数は7.2点となっています。

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする

問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない

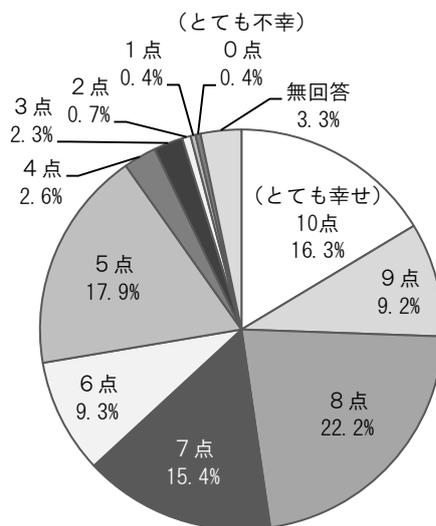


全体 n=4,355



全体 n=4,355

問7-(2) 現在どの程度幸せですか



全体 n=4,355



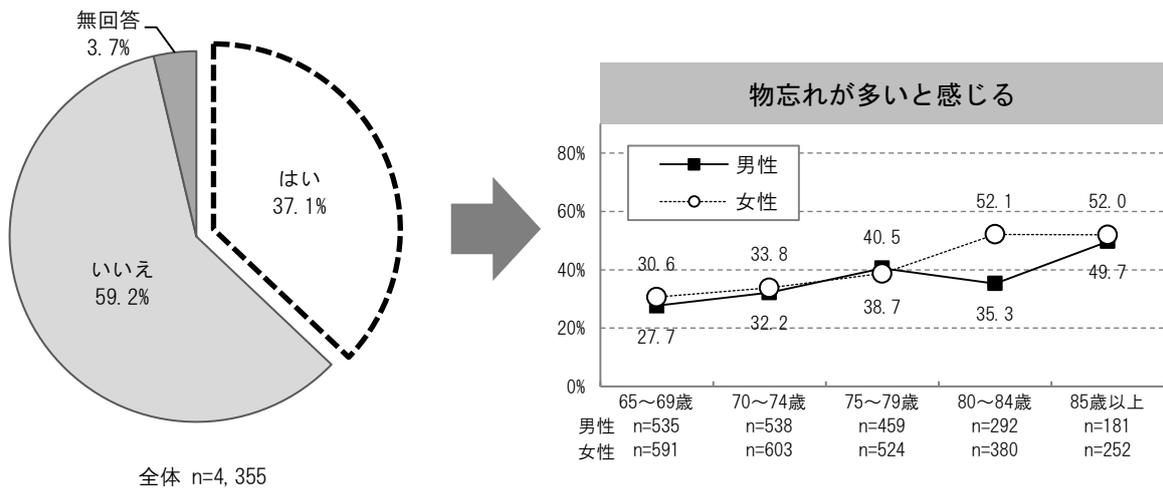
平均点数
7.2

(6) 物忘れの状況

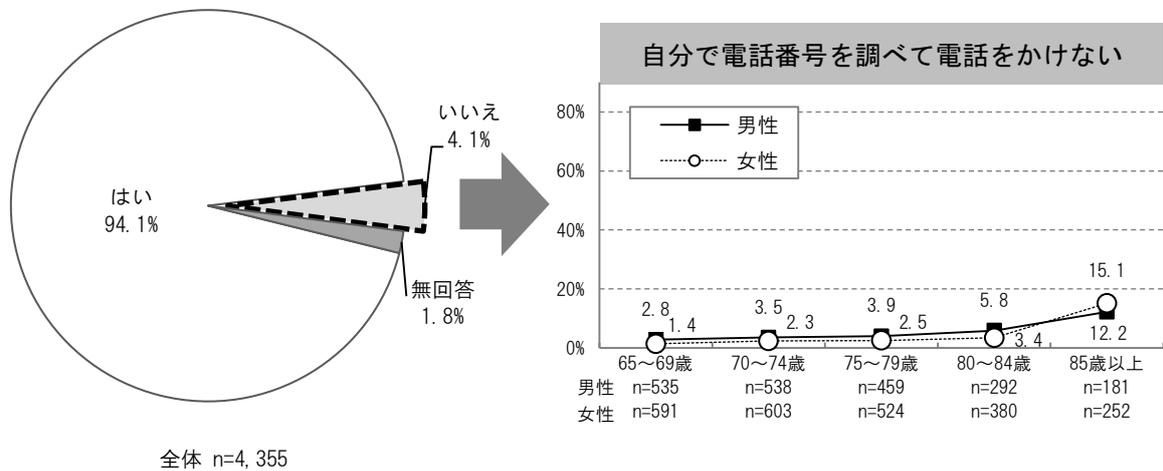
○一般高齢者の物忘れが多いと感じるかでは、「はい」の方が 37.1%となり、女性は 80～84 歳での割合が最も高く、男性は 85 歳以上で割合が高くなっています。

○自分で電話番号を調べて電話をかけるかでは、「いいえ」の方が 4.1%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(1) 物忘れが多いと感じるか

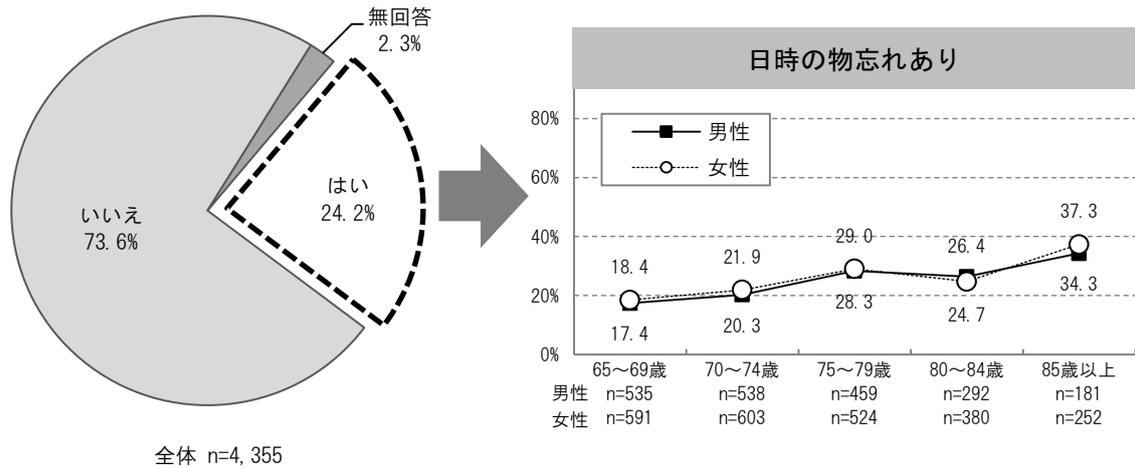


問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか

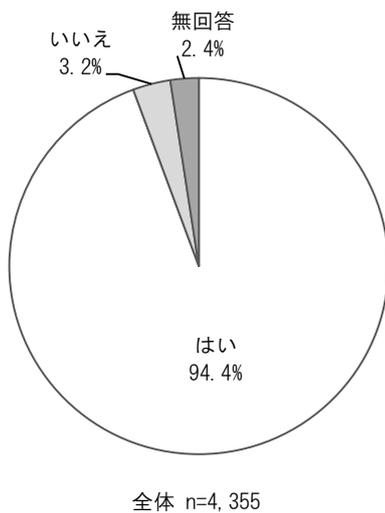


- 一般高齢者の今日が何月何日かわからない時があるかでは、24.2%の方があると回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。
- 5分前に自分が何をしていたか思い出せるかでは、3.2%の方が思い出せないと回答しています。
- その日の活動を自分で判断できるかでは、0.3%の方がほとんど判断できないと回答しています。

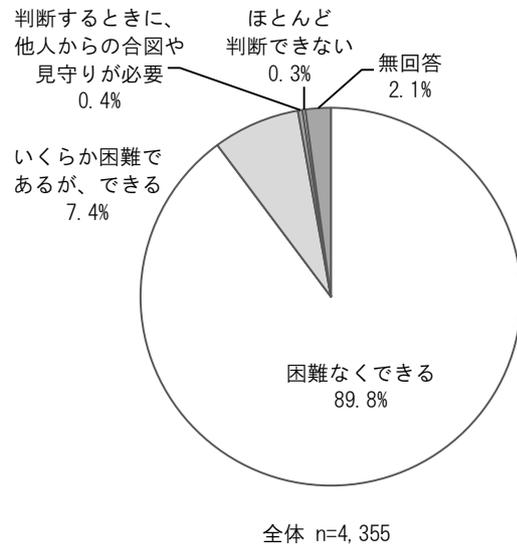
問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか



問4-(19) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか

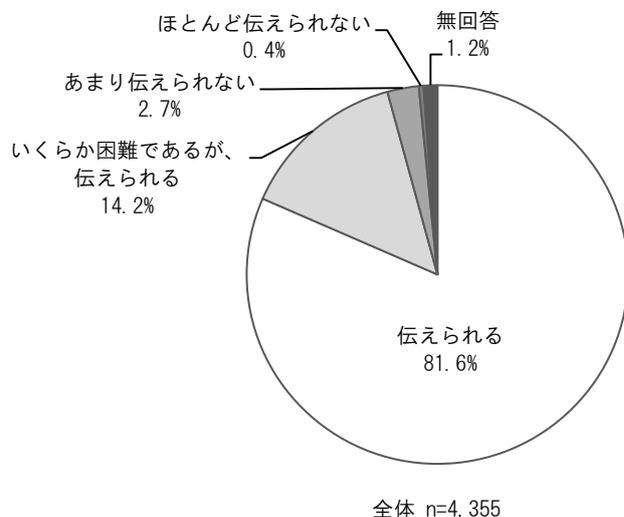


問4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



○一般高齢者の人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「あまり伝えられない」(2.7%)と「ほとんど伝えられない」(0.4%)を合わせた3.1%が伝えられない状況です。

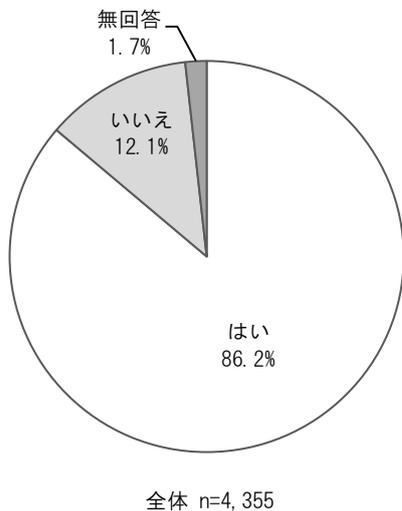
問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか



(7) ゴミ出しの状況 (市独自設問)

○一般高齢者のゴミ出しができていないかをみると、12.1%の方ができていないと回答しています。

問4-(24) ゴミ出しができていないか

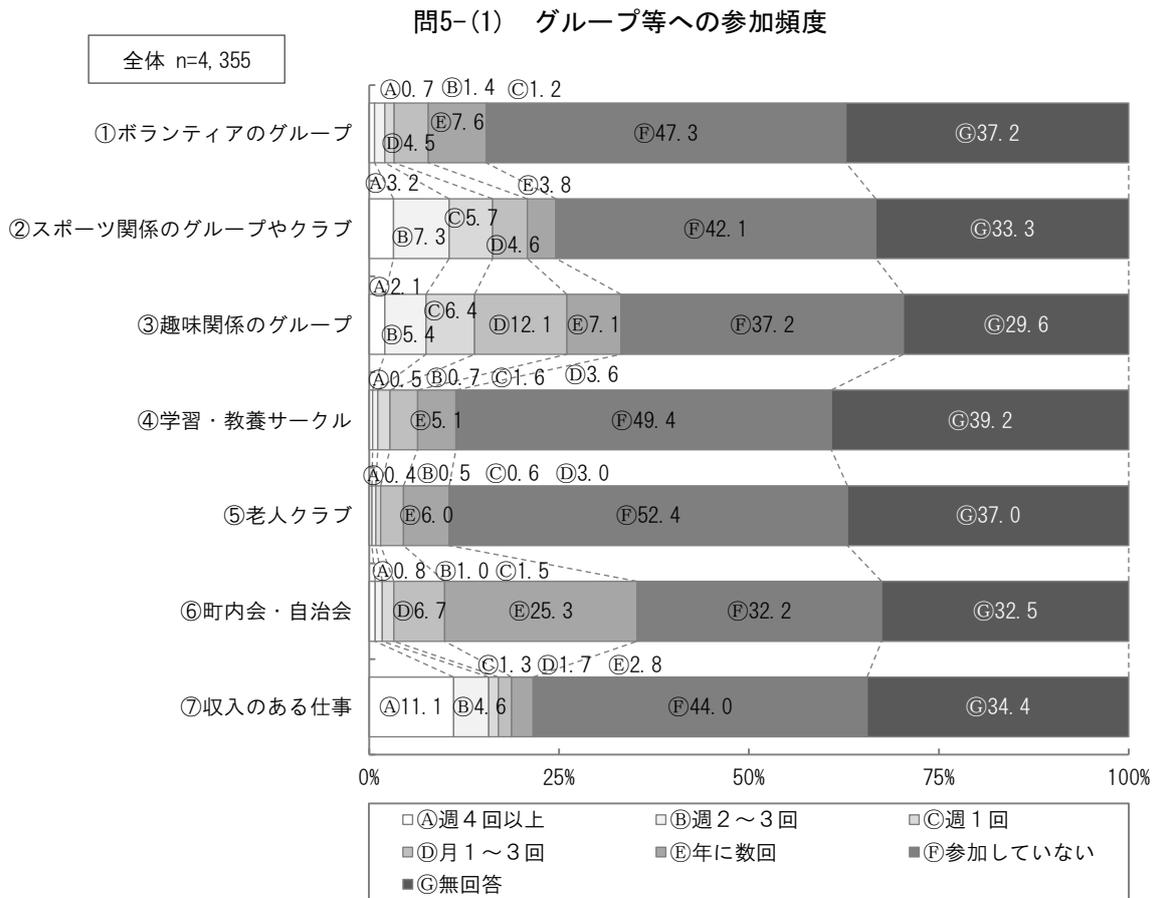


5 地域での活動について

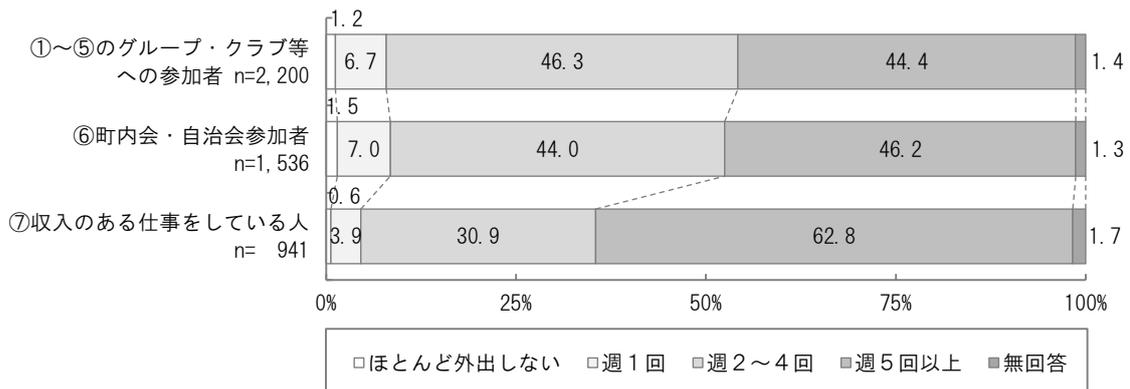
(1) グループ活動等の状況

○一般高齢者の週1回以上の就労またはグループ等への参加頻度をみると、「⑦収入のある仕事」(17.0%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(16.2%)、「③趣味関係のグループ」(13.9%)となっています。

○また、グループ等への参加者の外出頻度では、いずれの参加者も週1回以下の方は10%未満となっています。なお、「⑦収入のある仕事」をしている人では週5回以上が62.8%います。



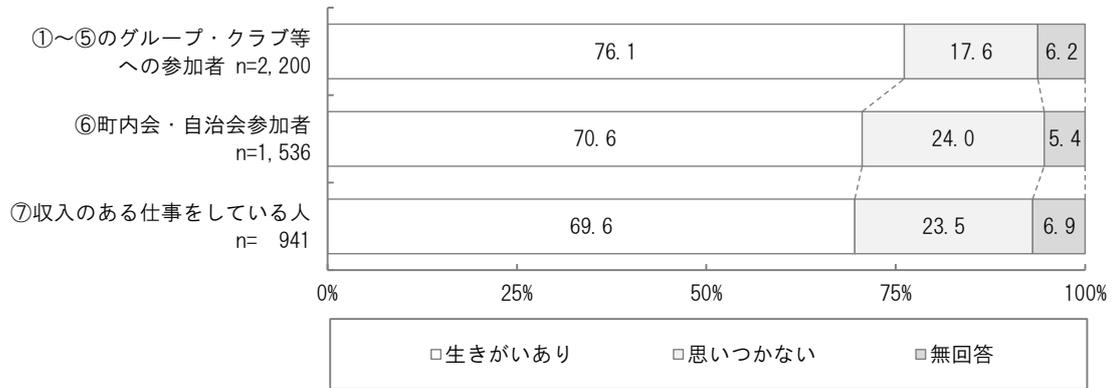
「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問2-(6) 外出頻度」



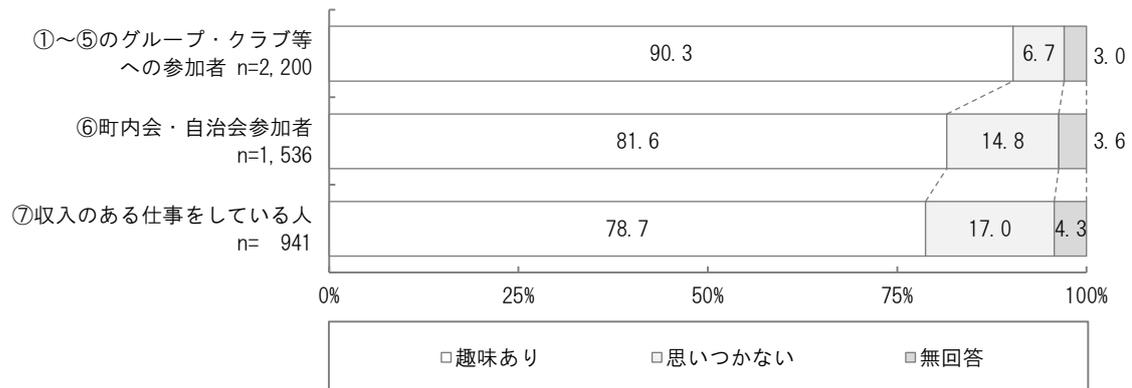
○一般高齢者のグループ等への参加者の生きがいの有無では、いずれの参加者も6割以上が生きがいがあると回答しています。

○グループ等への参加者の趣味の有無では、いずれの参加者も7割以上が趣味があると回答しています。

「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(18) 生きがいの有無」



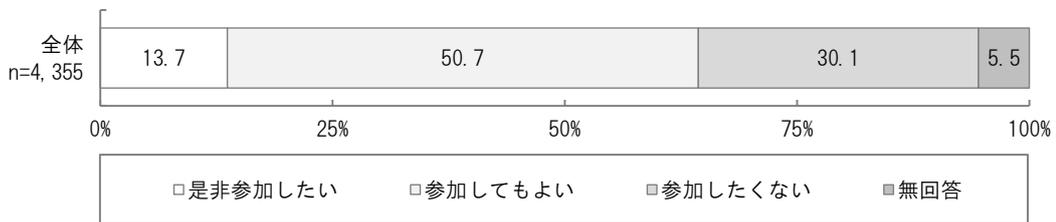
「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(17) 趣味の有無」



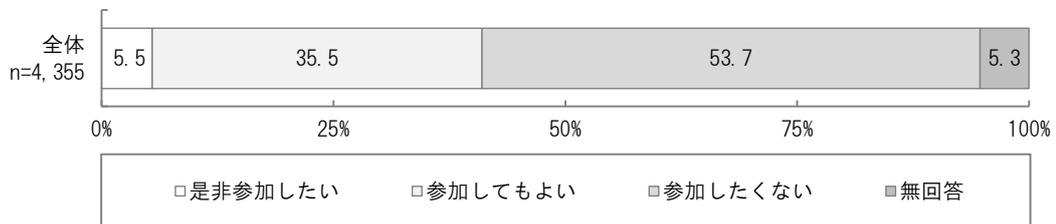
(2) 地域づくりに対する参加意向

- 一般高齢者の参加者としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(13.7%)と「参加してもよい」(50.7%)を合わせた64.4%の方が参加の意向です。
- 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(5.5%)と「参加してもよい」(35.5%)を合わせた41.0%の方が参加の意向です。一方、「参加したくない」は半数以上を占めています。
- グループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の健康感をみると、両者とも「まあよい」(各72.6%)が最も高くなっています。なお、「とてもよい」では後者が2.2ポイント上回っています。

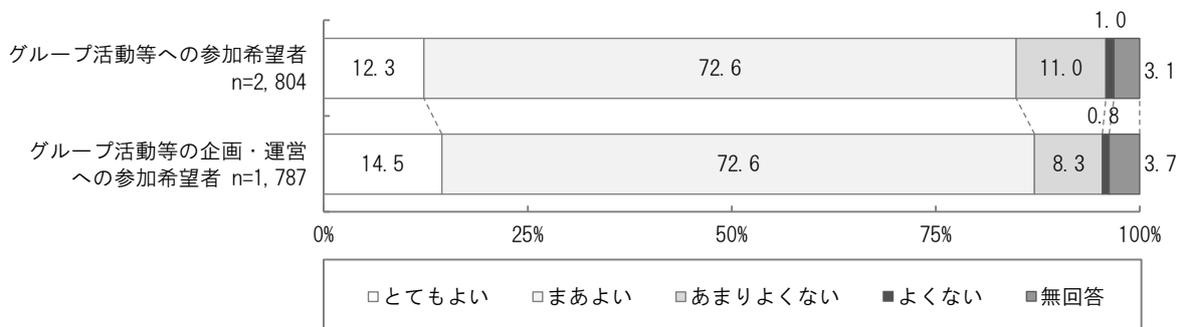
問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか



問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



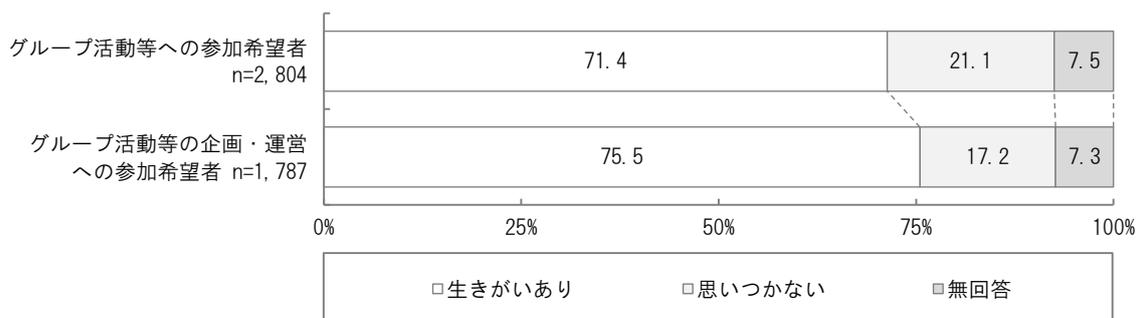
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」
× 「問7-(1) 主観的健康感」



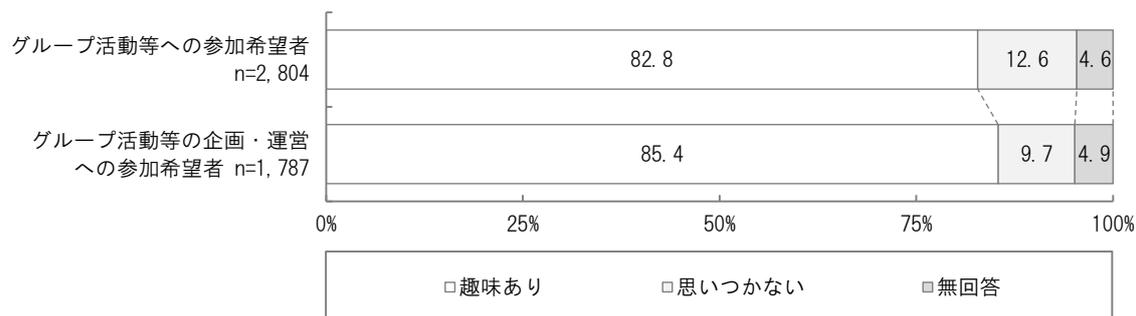
○一般高齢者のグループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の生きがいの有無では、「生きがいあり」では前者が71.4%、後者が75.5%と4.1ポイント上回っています。

○グループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の趣味の有無では、「趣味あり」では前者が82.8%、後者が85.4%と後者が2.6ポイント上回っています。

「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」
× 「問4-(18) 生きがいの有無」



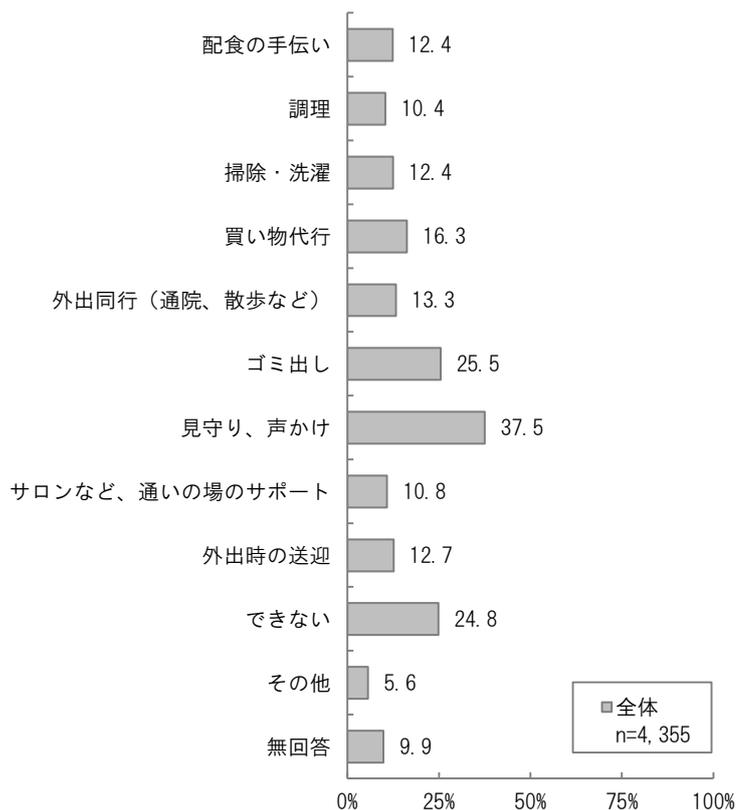
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」
× 「問4-(17) 趣味の有無」



(3) 地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの

○一般高齢者の地域でできる支援では、「見守り、声かけ」(37.5%)が最も高く、次いで「ゴミ出し」(25.5%)、「買い物代行」(16.3%)、「外出同行(通院、散歩など)」(13.3%)、「外出時の送迎」(12.7%)、「掃除・洗濯」「配食の手伝い」(各12.4%)、「サロンなど、通いの場のサポート」(10.8%)の順となっています。一方、「できない」方は24.8%となっています。

問5-(4) 地域でできる支援内容

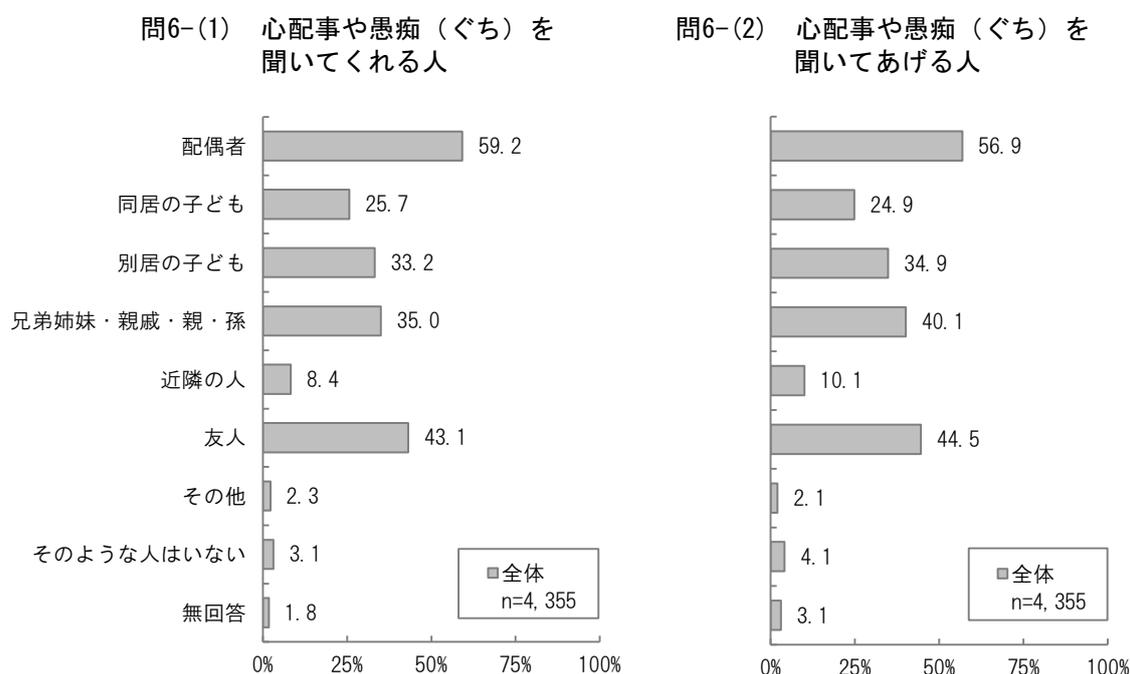


6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

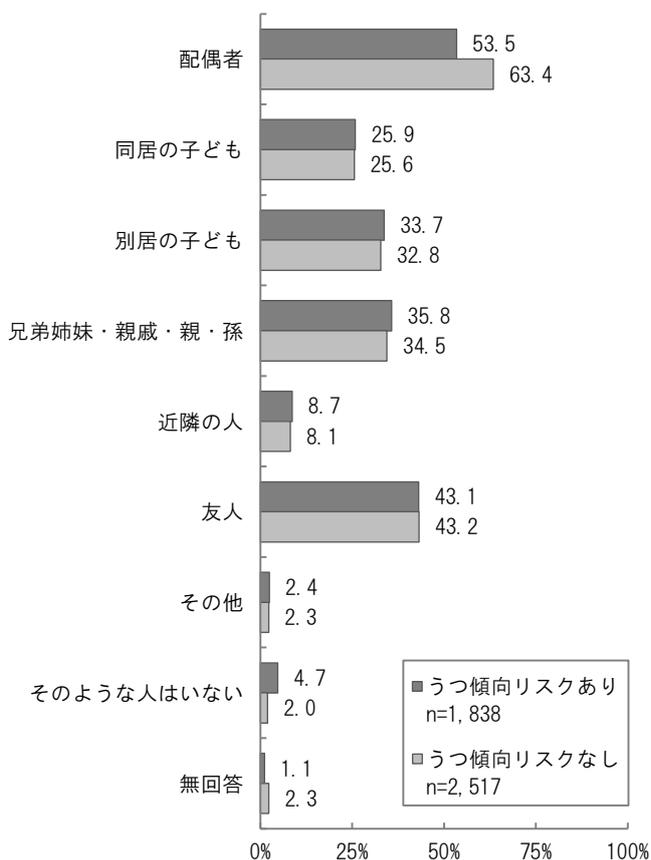
○一般高齢者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」（59.2%）が最も高く、次いで「友人」（43.1%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（35.0%）、「別居の子ども」（33.2%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は3.1%となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「配偶者」（56.9%）が最も高く、次いで「友人」（44.5%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（40.1%）、「別居の子ども」（34.9%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は4.1%となっています。



○一般高齢者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をうつ傾向リスクのあり・なし別にみると、両者ともに「配偶者」（53.5%・63.4%）が最も高く、次いで「友人」（43.1%・43.2%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（35.8%・34.5%）、「別居の子ども」（33.7%・32.8%）、「同居の子ども」（25.9%・25.6%）を順に挙げています。一方、「そのような人はいない」は前者が4.7%、後者が2.0%と前者が2.7ポイント上回っています。

「問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスク有無」



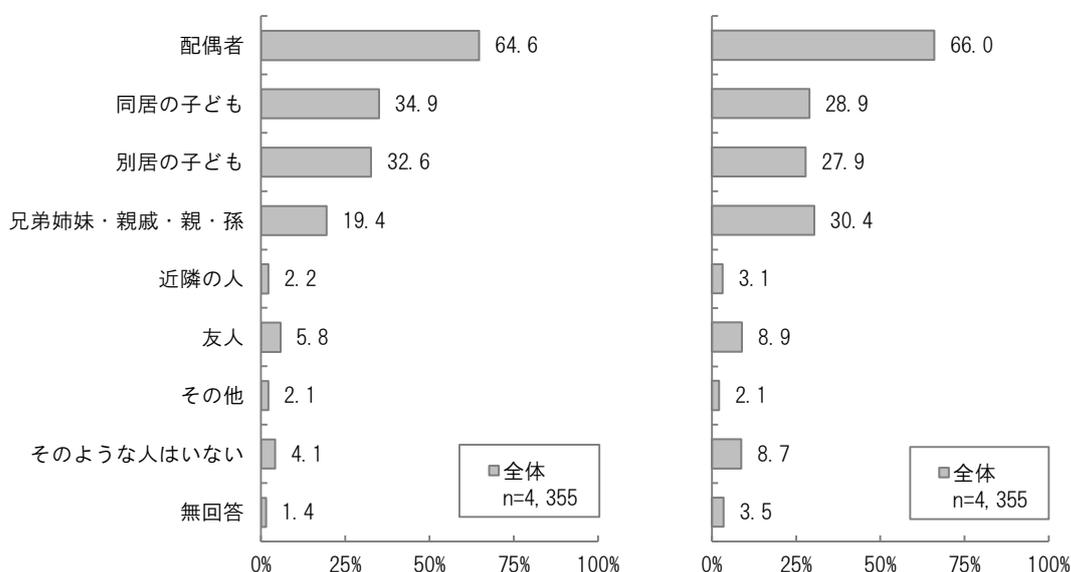
○一般高齢者の病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(64.6%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(34.9%)、「別居の子ども」(32.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.4%)の順となっています。

○看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」(66.0%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.4%)、「同居の子ども」(28.9%)、「別居の子ども」(27.9%)の順となっています。

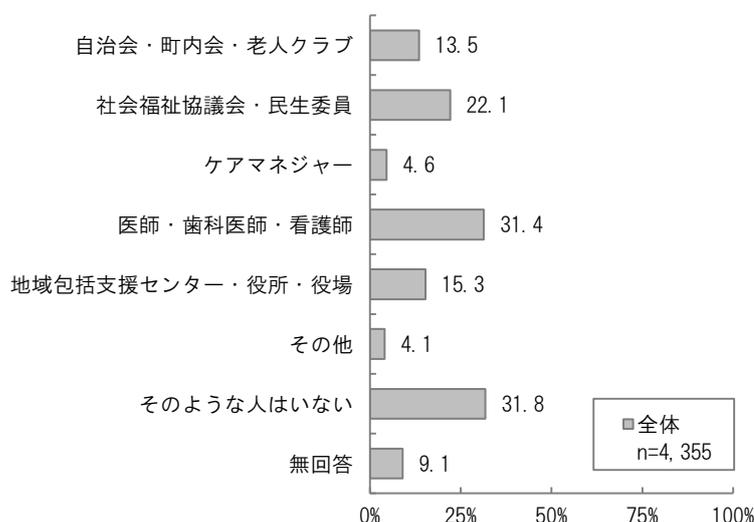
○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」(31.4%)が最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」(22.1%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(15.3%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(13.5%)の順となっています。また、「そのような人はいない」方は31.8%となっています。

問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



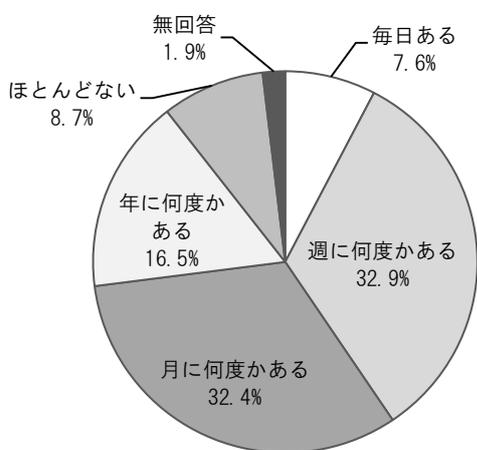
問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



(2) 友人・知人との交流状況

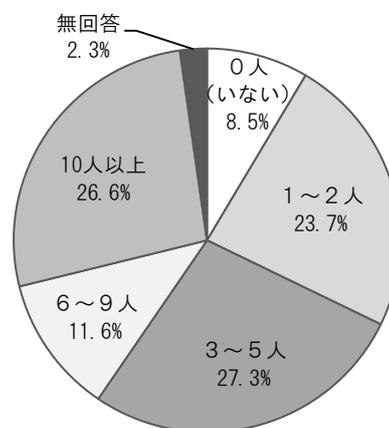
- 一般高齢者の友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(32.9%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(32.4%)となっています。
- 1か月間、何人の友人・知人と会ったかでは、「3～5人」(27.3%)が最も高く、次いで「10人以上」(26.6%)となっています。
- よく会う友人・知人はどんな関係の人かは、「近所・同じ地域の人」(53.3%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(40.2%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.8%)、「学生時代の友人」(19.0%)の順となっています。

問 6-(6) 友人・知人と会う頻度



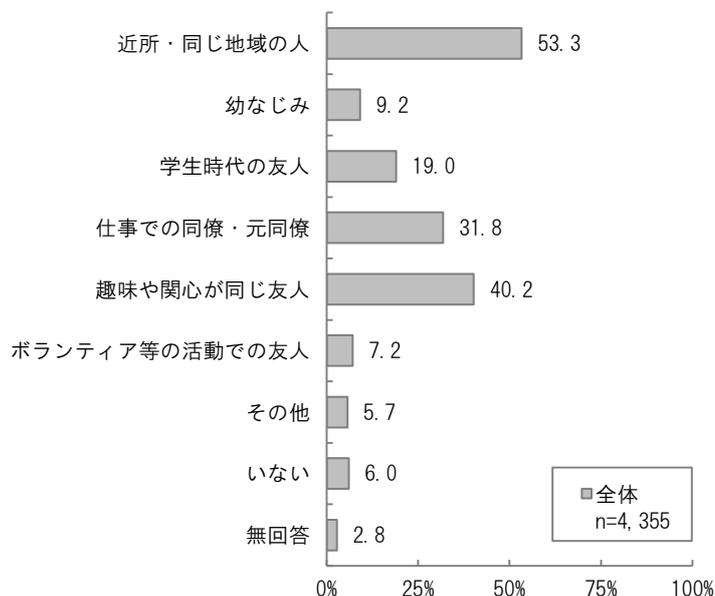
全体 n=4,355

問 6-(7) 何人の友人・知人と会ったか
(最近1か月間)



全体 n=4,355

問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人が



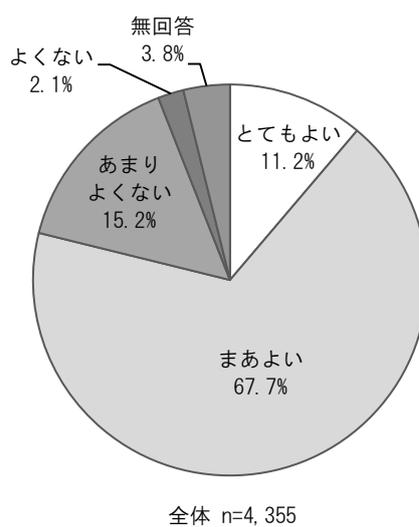
■全体
n=4,355

7 健康について

(1) 健康状態

○一般高齢者の現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(67.7%)が最も高く、「とてもよい」(11.2%)を合わせた78.9%の方が健康と感じています。

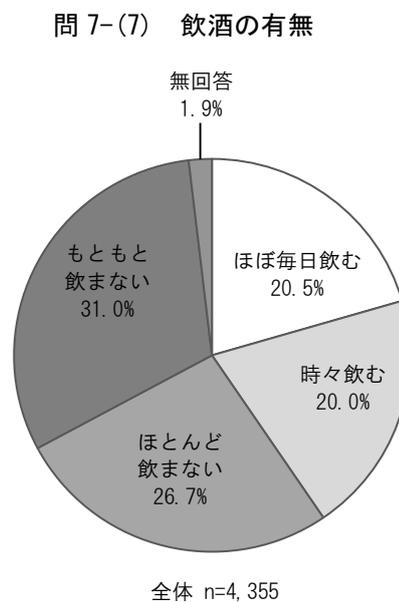
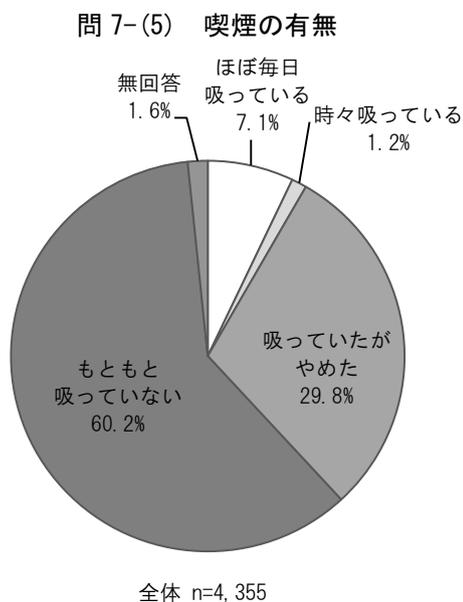
問7-(1) 現在の健康状態はいかがですか



(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

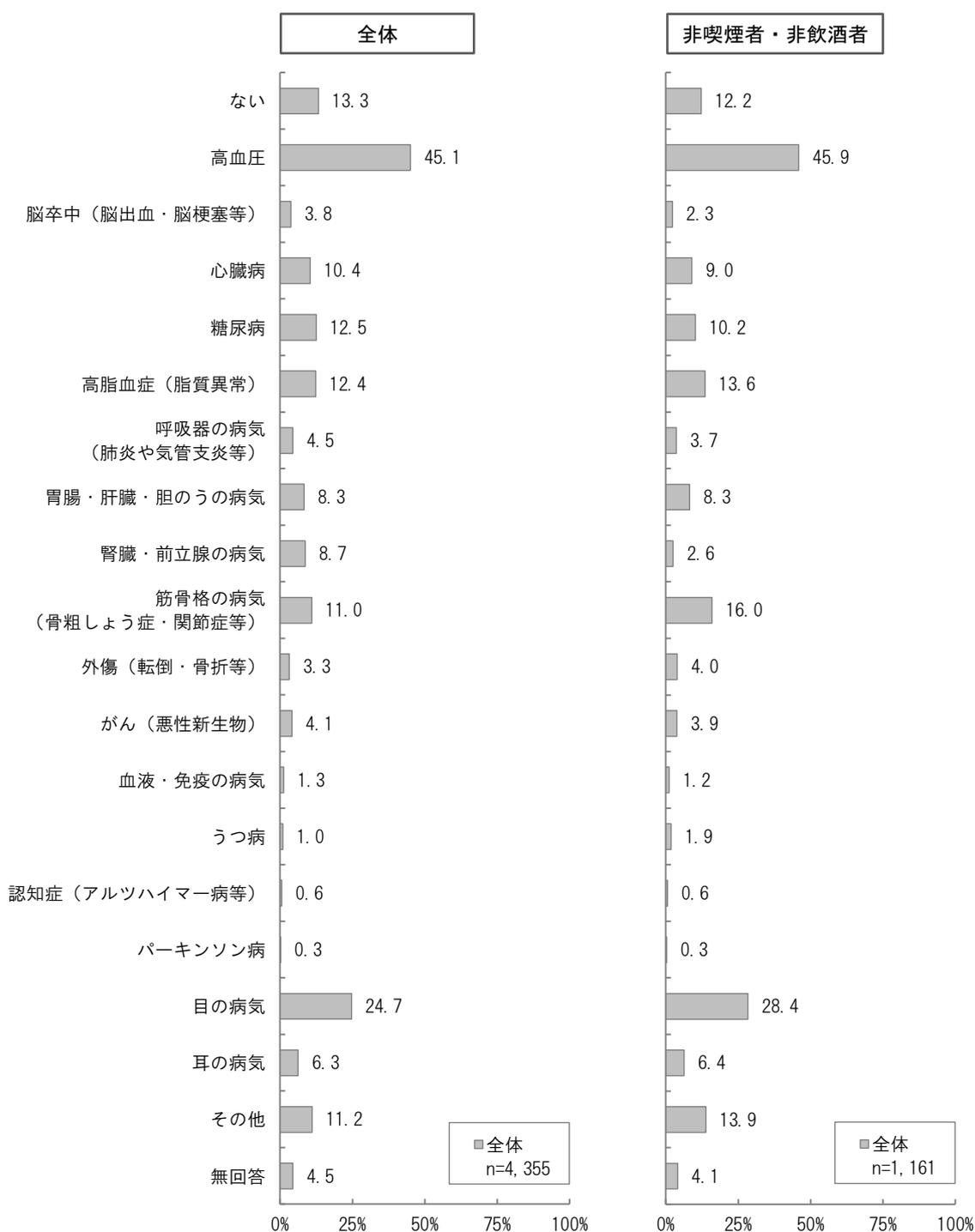
○一般高齢者の喫煙の有無では、「ほぼ毎日吸っている」(7.1%)と「時々吸っている」(1.2%)を合わせた 8.3%の方が喫煙しています。

○飲酒の有無では、「ほぼ毎日飲む」(20.5%)と「時々飲む」(20.0%)を合わせた 40.5%の方が飲酒しています。



○一般高齢者の現在治療中、または後遺症のある病気の有無をみると、全体では「高血圧」(45.1%)が最も高く、次いで「目の病気」(24.7%)、「糖尿病」(12.5%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(11.0%)の順となっています。非喫煙者・非飲酒者を比較すると「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(16.0%)は前者より5.0ポイント上回っています。

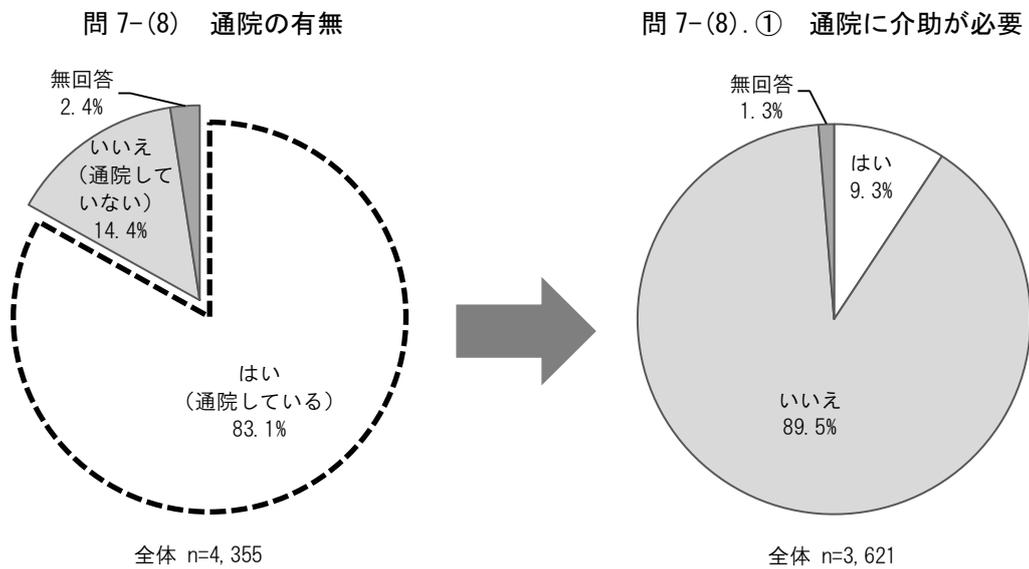
問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気の有無



(3) 通院の状況

○一般高齢者の通院の有無では、83.1%の方が通院していると回答しています。

○通院に介助が必要かでは、9.3%の方が介助が必要と回答しています。



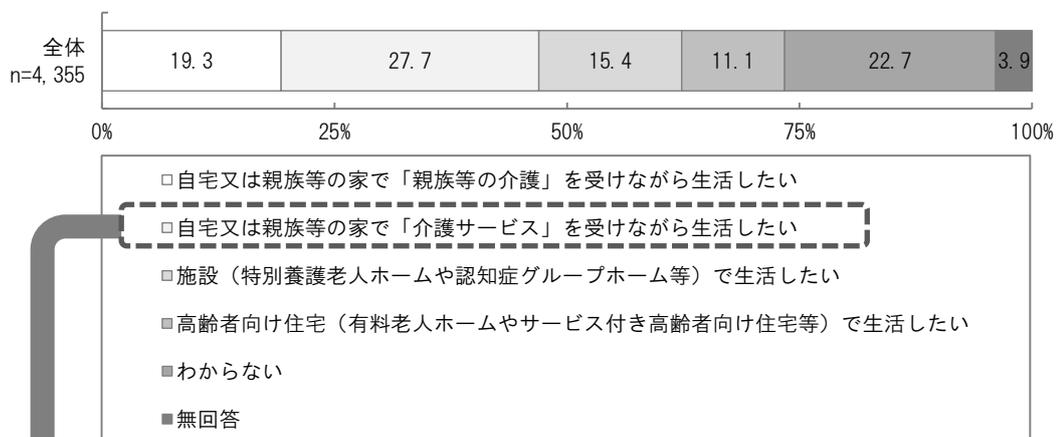
8 介護等が必要になった場合の生活について

(1) 生活場所やサービス利用の意向

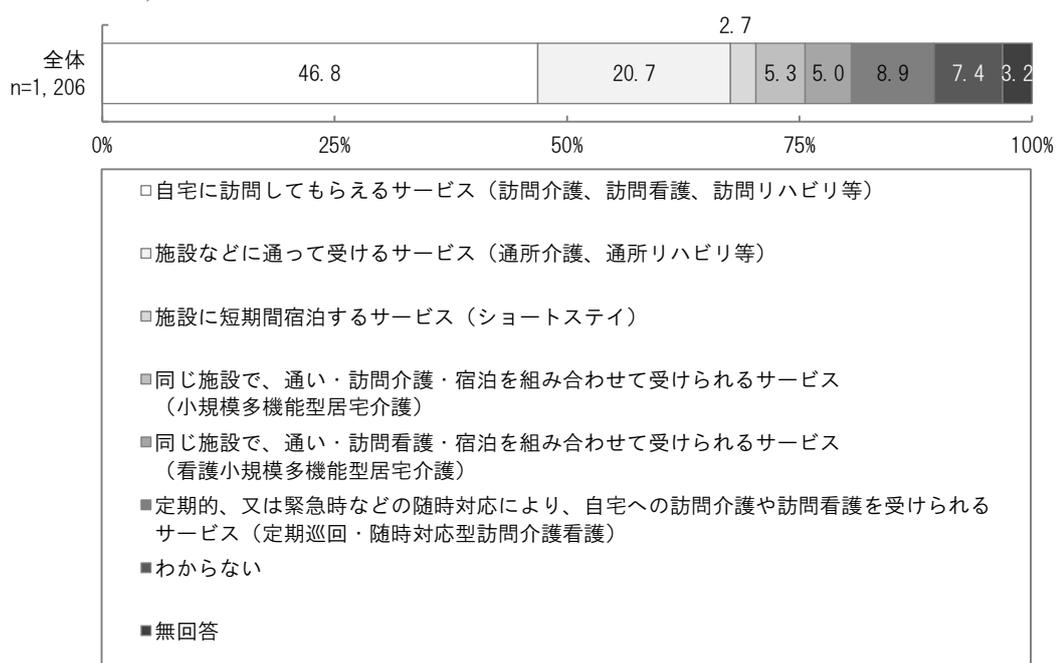
○一般高齢者の介護が必要になった場合、どこで生活をしたいかをみると、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」(27.7%)が最も高くなっています。

○また、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」と回答した方が受けたい介護サービスは、「自宅に訪問してもらえるサービス（訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ等）」(46.8%)が最も高く、次いで「施設などに通って受けるサービス（通所介護、通所リハビリ等）」(20.7%)、「定期的、又は緊急時などの随時対応により、自宅への訪問介護や訪問看護を受けられるサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」(8.9%)の順となっています。

問8-(1) 介護が必要になった場合、どこで生活をしたいか



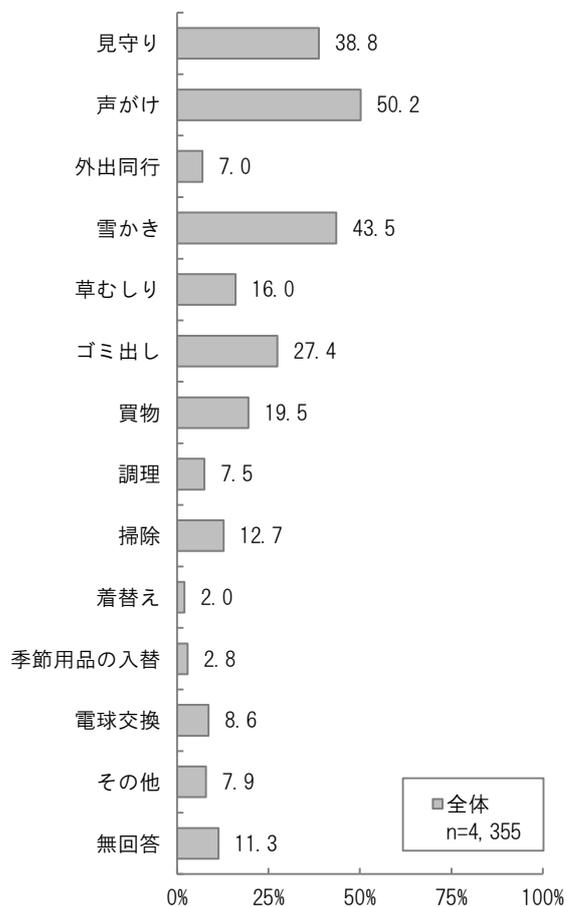
問8-(1).① どのような介護サービスを受けたいか



(2) 近隣からの支援に望むこと

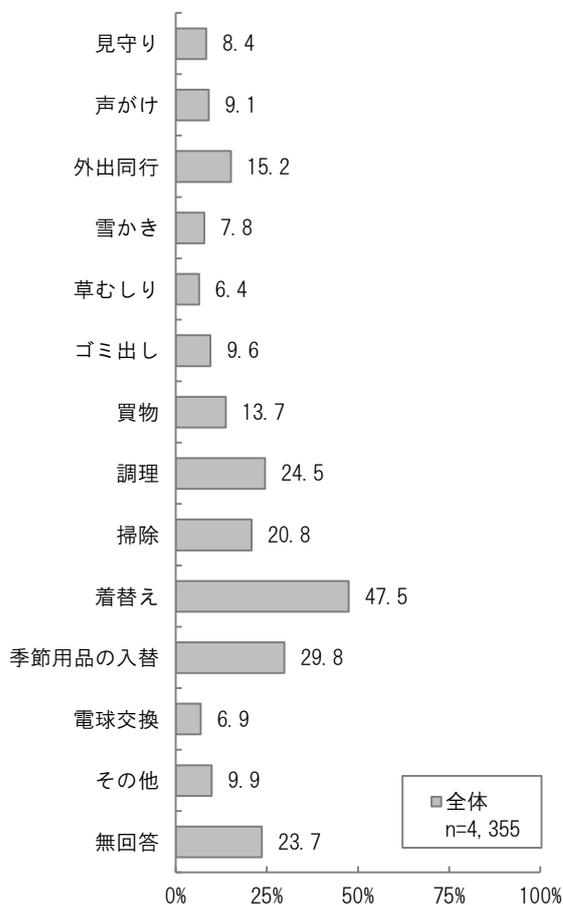
○一般高齢者の介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいことは、「声かけ」(50.2%)が最も高く、次いで「雪かき」(43.5%)、「見守り」(38.8%)、「ゴミ出し」(27.4%)の順となっています。

問8-(2) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいこと



○一方、近隣の人に頼みたくないことは、「着替え」(47.5%)が最も高く、次いで「季節用品の入替」(29.8%)、「調理」(24.5%)、「掃除」(20.8%)の順となっています。

問8-(3) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたくないこと



9 山形市の施策について

(1) 認知症予防への支援

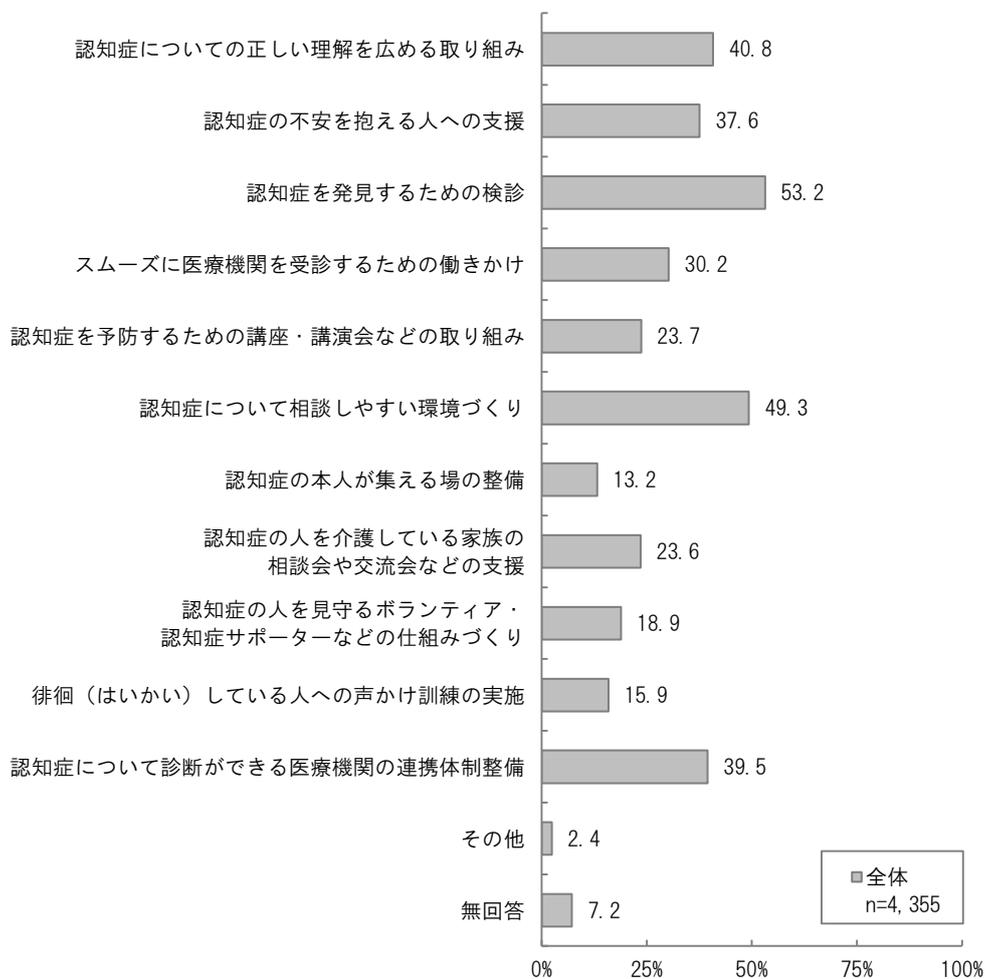
○一般高齢者の認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところをみると、「かかりつけ医」(63.1%)が最も高く、次いで「認知症専門医(精神科・神経内科等)」(15.5%)となっています。

問9-(1) 認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところ

全体 n=4,355	回答者数	割合
かかりつけ医	2,747人	63.1%
認知症サポート医	172人	3.9%
認知症専門医(精神科・神経内科等)	676人	15.5%
地域包括支援センター	160人	3.7%
ケアマネジャー(介護支援専門員)	89人	2.0%
民生委員・福祉協力員	112人	2.6%
介護サービス事業者	10人	0.2%
市役所などの行政機関	76人	1.7%
認知症のひと家族の会	9人	0.2%
認知症サポーター	16人	0.4%
薬局	8人	0.2%
その他	44人	1.0%
無回答	236人	5.4%

○認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきことは、「認知症を発見するための検診」(53.2%)が最も高く、次いで「認知症について相談しやすい環境づくり」(49.3%)、「認知症についての正しい理解を広める取り組み」(40.8%)、「認知症について診断ができる医療機関の連携体制整備」(39.5%)の順となっています。

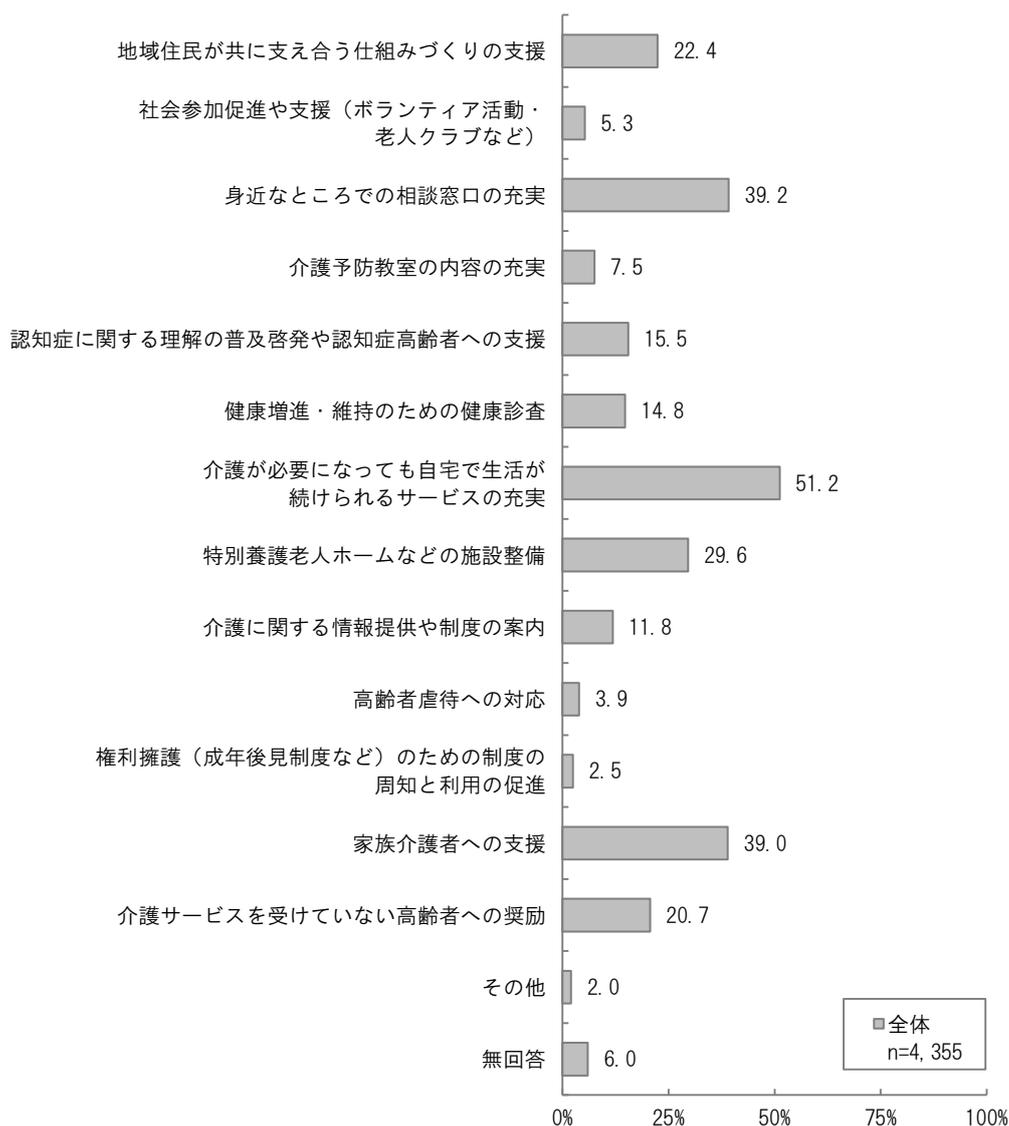
問9-(2) 認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきこと



(2) 高齢者保健福祉への取組

○一般高齢者の高齢者保健福祉について、市が取り組むべきことをみると、「介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実」(51.2%)が最も高く、次いで「身近なところでの相談窓口の充実」(39.2%)、「家族介護者への支援」(39.0%)、「特別養護老人ホームなどの施設整備」(29.6%)の順となっています。

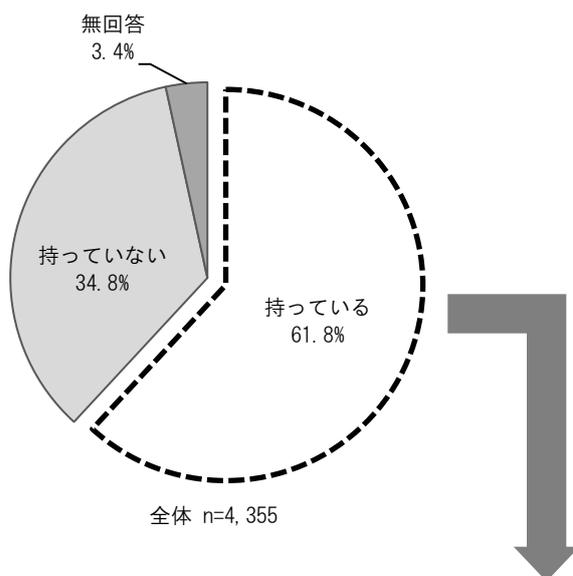
問9-(3) 高齢者保健福祉について、市が取り組むべきこと



10 自動車の運転について

- 一般高齢者の自動車運転免許証の所持状況は、「持っている」が61.8%となっています。
- また、自動車の運転をやめたら日常生活で困ることをみると、「食品や日用品の買物」(80.9%)が最も高く、次いで、「かかりつけ医への通院」(67.6%)、「友人・親戚等との交流」(58.6%)、「総合病院への通院」(55.7%)の順となっています。

問10-(1) 自動車の運転免許証を持っているか



問10-(1).① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ること

